

令和3年度
兵庫県社会福祉協議会
社会福祉研修概要

令和3年度実施計画及び令和2年度実施状況

令和3年6月
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
福 祉 人 材 研 修 セ ン タ ー

はじめに

兵庫県社会福祉協議会（以下「県社協」という。）は、昭和 59 年に兵庫県社会福祉研修所の管理運営を兵庫県から受託して以来、社会福祉に関する専門研修機関として、県内で活躍する社会福祉従事者の各種の現任研修を実施してまいりました。

平成 31 年 3 月には県条例改正により兵庫県福祉人材研修センターと名称を変更し、建物も旧兵庫県産業会館を耐震補強した新たな研修センターとなりました。

この間、福祉制度が成熟化する一方で、福祉を取り巻く社会環境の変化により多様化、複雑化する福祉ニーズへの対応と福祉人材の確保・育成が現場における大きな課題となっています。県社協では中期計画「兵庫県社協 2020 年計画」で示した方針に基づき、学識者や関係団体等で構成する社会福祉研修委員会の意見も踏まえ、こうした課題に対応する研修体系を定めています。

この研修体系に基づき、階層別研修、多職種・地域と協働できる専門職養成、新任職員のフォローアップを目的とした研修や中堅職員を対象とした社会福祉の基礎研修、質の高いサービスを継続的・発展的に提供するための福祉組織のマネジメントを担う人材の養成等に取り組みました。さらに、介護支援専門員に係る県指定研修実施機関として、介護支援専門員が修得すべき専門知識や技術の指導に的確に対応できる講師の確保・養成を図るとともに、研修内容・方法の充実に努めてきました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響は私たちの暮らしに影響を与えました。研修実施機関である私たちにとっても、研修そのものあり方を改めて問い直す契機となりました。

ここに、令和 2 年度の研修実施状況と令和 3 年度の研修実施計画を「研修概要」としてまとめました。今後も時代の要請に応え、社会福祉事業を担う人材と組織の活躍・発展をしっかりと支える研修を実施してまいります。ご一読の上、ご意見を賜れば幸いに存じます。

目 次

はじめに

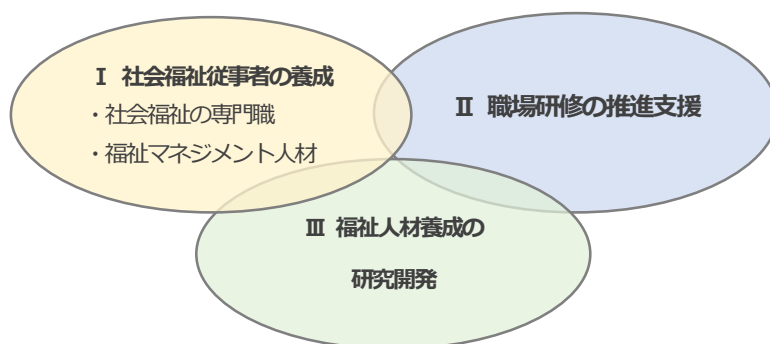
1	福祉人材研修センターの役割と研修の方向性・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	福祉人材研修センターにおける社会福祉従事者研修の体系・・・・・・・・	3
3	令和3年度 福祉人材研修センター 研修計画一覧・・・・・・・・・・	4
4	令和2年度 福祉人材研修センター 研修実施状況一覧・・・・・・・・	10
5	福祉人材研修センターに関する資料・・・・・・・・・・・・・・・・	63

1 福祉人材研修センターの役割と研修の方向性

福祉人材研修センターの役割

- 福祉人材研修センター（以下、「研修センター」）は、福祉ニーズの質・量の増大に対応した福祉人材養成と社協の使命である地域福祉の推進という2つの観点から、県内の社会福祉従事者等を対象に研修を実施しています。

▼研修センターの3つの役割



I 社会福祉従事者の養成	社会福祉の専門性を高めるとともに、福祉組織の経営・マネジメントを担う人材養成をめざします
II 職場研修の推進支援	それぞれの福祉職場における職場研修の推進を支援します
III 福祉人材養成の研究開発	研修プログラムやテキスト・教材開発などに取り組みます

現行の研修体系の方向性

次の3つの方向性で研修を実施しています。

方向性Ⅰ | キャリア形成に資する体系的研修の推進・支援

研修の目的・目標をより明確にし、キャリア形成に資する人材養成が図られるよう、社会福祉従事者・役員に求められる職階別の役割及び資質等に関する標準モデルを設定しました。

このモデルでは、従来から提示してきた職階別に求められる資質を、「社会福祉の専門性」と「福祉マネジメントの専門性」に大別し、それぞれで必要となる資質・能力をより詳細に示しました。

方向性Ⅱ | 多職種・地域と協働できる専門職養成

利用者を生活の主体者として捉え、総合的に支援ができる社会福祉の専門性を身につける研修を実施します。具体的には、社会福祉の基本的な価値・理論を学ぶ基盤研修を充実するとともに、地域福祉コースを開設し、地域のさまざまな資源を活かした支援展開と地域づくりの支援ができる専門職の養成を進めます。

方向性Ⅲ | 福祉マネジメント人材の養成

利用者の多様な生活課題に柔軟に応える社会福祉法人の自主的・自律的経営に向け、「経営計画」に基づくPDCAサイクルによるマネジメントの確立とOJTを中心とした人材養成の定着を大きなねらいとして研修を組み立てます。

職場内研修の支援

- 研修センターで体系的研修を実施するとともに、各福祉職場における人材養成（＝職場内研修）を推進するための支援を継続し、その充実を図ります。具体的には、「職場研修アドバイザー事業」（県からの受託事業）の活用を促進します。同事業では、研修センターの専任アドバイザーが直接職場を訪問し、職場研修の実施をサポートします。
- また、同事業で明らかになった成果を整理し、職場内研修に生かせるプログラムや資料を社会福祉施設・事業所に提供するとともに、同事業の継続実施に向け兵庫県との連携を引き続き図っていきます。

介護支援専門員

- 地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を果たす介護支援専門員の資質向上に向けて法定研修・自主研修の別を問わず体系的な研修の充実を図り、利用者主体の暮らしを支えるケアマネジメントに必要な価値・知識・技術の修得を支援します。
- 研修においては県内各地で活躍する介護支援専門員が講師として講義・演習指導を行います。実践で培われた専門的知見をもとによりわかりやすい指導が行えるよう、講師陣と研修センターが協働でシラバスづくりや教材開発も行い、理論と実践が融合した介護支援専門員の養成を推進します。

3 令和3年度 福祉人材研修センター 研修計画一覧

は令和3年度新規研修									
研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施時期	延べ日数 (日)	受講料(円)	研修のねらい
種別新任コース									
社会福祉協議会新任職員研修	県内市区町社協新任職員	100	100	2	1	4月	2	2,200 (2日分)	社協組織の特性を学ぶとともに、先輩職員や当事者の話を聴き、社協職員としての視点・役割を理解する。
保育所等新任保育士研修	保育所の新任保育士 認定こども園の新任保育教諭	200	100	1	2	5月	2	4,800	講師、保護者・先輩保育士等の話を聴く中で、その役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。
						6月			
児童福祉新任職員研修	児童養護施設等児童福祉施設(保育所等を除く)の新任職員	50	50	1	1	5月	1	4,800	講師、先輩職員の話を聴く中で、児童福祉施設の役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。
障害福祉新任職員研修	障害福祉施設・事業所の 新任職員	200	100	1	2	5月	2	4,800	講師、障害当事者、先輩職員の話を聴く中で、障害福祉施設の役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。
						6月			
高齢者福祉新任職員研修	高齢者福祉施設・事業所の 新任職員	150	75	1	2	6月	2	4,800	業務の基本となる対人援助職としての基本姿勢から高齢者福祉施設等の役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。
						9月			
新任フォローアップコース									
新任職員ステップアップ研修	社会福祉施設・社協等で勤務する勤務経験1年以上概ね3年未満の職員	200	100	1	2	10月	2	4,800	メンバーシップとコミュニケーションなど社会人・組織人としての基礎知識を学ぶとともに、中堅へのステップアップに向けた目標を設定する。
						11月			
社会福祉援助基礎コース									
はじめて福祉の仕事に就く人のための研修	福祉行政機関、社会福祉施設・事業所等職員で、社会福祉の基礎教育を受けていない職員	100	50	1	2	7月	2	4,800	社会福祉の現場で働く上での基礎を学びたい人向け。特に、対人援助に必要な価値、知識、技術を学ぶ。
						10月			
思いを伝えるコミュニケーション基礎研修	社会福祉施設・事業所で勤務する概ね1～3年目の新任職員	100	100	2	1	6～7月	2	9,600 (2日分)	専門職・組織人として習得するべきコミュニケーション技術を学ぶ。
相談面接技術研修(初級)	社会福祉施設・社協等に勤務し、相談援助業務従事年数3年未満の職員(保育所保育士・認定こども園保育教諭を除く)	120	60	2	2	7月	4	8,400 (2日分)	コミュニケーションの基本を学びたい人向け。基礎的な相談面接技術を学ぶ。
						1月			
相談面接技術研修(中級)	社会福祉施設・事業所等に勤務し、相談援助業務従事年数3年以上の職員(保育所保育士・認定こども園保育教諭を除く)	72	24	2	3	7～8月	6	10,400 (2日分)	相談面接技術の実践力を高めたい人向け。自身の日ごろの実践を振り返りながら相談面接技術を学ぶ。
						1月			
						2～3月			

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	延べ日数 (日)	受講料(円)	研修のねらい
テーマ別中堅コース									
アセスメントスキル向上研修 (高齢・障害)	高齢・障害福祉施設・事業所等の中堅職員	80	80	1	1	11月	1	4800	利用者一人ひとりの特性とニーズを捉える方法を学び直したい中堅・リーダーの方向け。
子どもの理解と発達支援研修 (児童)	児童福祉施設等の中堅職員	100	100	1	1	1月	1	4800	
アンガーマネジメント研修 (職業倫理と権利擁護研修)	社会福祉施設・事業所等の中堅職員	120	120	1	1	1月	1	4800	利用者に対してより良い支援を行うために、自分の怒りの感情と上手に向き合う方法について学ぶ。
チームアプローチ実践研修	チームアプローチを実践する立場にあるチームリーダーや中堅職員	100	100	1	1	10月	1	6,200	チーム形成に役立つファシリテーション力を身につけたい中堅・リーダーの方向け。
地域福祉コース									
地域福祉研修	社協、地域包括支援センター、社会福祉施設・事業所等の相談支援・地域支援従事者等	50	50	4	1	8月	4	20,500 (4日分)	生活の場が施設であっても在宅であっても、「利用者の暮らしを地域とともに支えるとは！？」「地域への貢献活動で具体的にどんな活動をすれば良いのか」を学ぶ。
						10月			
						11月			
						1月			
職種・業種別コース									
看護職と介護職の連携強化研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する看護職員・介護職員・相談支援業務に従事する職員 など	72	72	1	1	1月	1	4,800	社会福祉施設における看護職員と介護職員等が対象。地域包括ケアに向けた看護・介護の連携視点と専門性を生かした多職種連携を学ぶ。
栄養士・調理師研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する栄養士、調理師、介護職等の栄養管理や給食に携わる管理職・職員	72	72	1	1	12月	1	4,800	社会福祉施設に勤務する栄養士・調理師が対象。「食」を通じて利用者支援と現場での実践の工夫を学ぶ。
スーパーバイザー養成コース									
地域福祉ゼミナール	社協、地域包括支援センター、社会福祉施設・事業所等の相談支援・地域支援従事者等(原則として、地域福祉研修修了者)	20	20	4	1	9月	4	24,800 (4日分)	地域福祉のコーディネーターとして地域生活支援や地域づくり支援に必要な知識・技術を学ぶ。
						10月			
						11月			
						12月			
保育リーダーゼミナール	保育所・認定こども園で主任など指導的立場にある保育士・保育教諭	30	30	4	1	9月	4	24,800 (4日分)	保育所等におけるリーダーとしての役割、スーパーバイズに必要な知識・技術を学びたい人向けです。
						10月			
						11月			
						12月			
高齢者福祉リーダーゼミナール	障害者福祉施設・事業所に勤務する指導的立場にある職員	20	20	4	1	10月	4	24,800 (4日分)	援助課題の解決方やリーダーとしての役割、スーパーバイズに必要な知識・技術を学ぶ。
						11月			
						12月			
						1月			

研修種別	研修対象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	延べ日数 (日)	受講料(円)	研修のねらい
人材育成・マネジメントコース									
組織マネジメント基礎研修 (管理職研修)	社会福祉法人・事業所の 施設長・部門管理者(部 課長・フロアー長)、社会福 祉協議会事務局長等	50	50	2	1	7月	2	16,600	管理職等の基本的な役割 と、組織マネジメントの基本 を体系的に学び、職場づく りに生かしたい管理職(事 務長・施設長・部長・課長 等)向け。
						8月			
職場定着・労務管理研修	社会福祉法人・事業所の 施設長・部門管理者(部 課長・フロアー長)、社会福 祉協議会事務局長等	200	100	1	2	8月	2	8,300	職場定着率を高めるために リーダーとして出来ることや、 人事労務を通じた組織運 営のための知識・技術を学 ぶ。
						10月			
人が育ち自分も伸びる リーダーシップ研修 ～信頼され安心感を与えるリー ダーになるためのポイント～	社会福祉施設・団体等で 勤務する管理職、現場 リーダー(係長や主任等)	180	90	1	2	5月	2	6,200	リーダーの基本的役割と課 題把握の方法を学びたい リーダー層(主任、係長等) 向け。
						6月			
コーチング研修 ～人と組織を動かす コミュニケーション技法～	社会福祉施設・団体等で 勤務する管理職、現場 リーダー(係長や主任等)	180	90	1	2	6月	2	6,200	コーチングの基本を学びたい リーダー層(主任、係長等) 向け。
						8月			
OJTリーダー養成研修 (基礎編)	社会福祉施設・団体等で 勤務する管理職、新任職 員のOJTを担当する職員	100	100	1	1	7月	1	5,300	OJTの「基本のき」を学ぶ 研修です。OJTの重要性、 OJT担当者の役割と進め 方を学ぶ。
OJTリーダー養成研修 (実践編)	社会福祉施設・団体等で 新任職員のOJTを担当す る職員	60	60	2	1	8月	2	8,400 (2日分)	OJTを職場で実践するプラン を立て、実行・評価するこ ろまでがパッケージになった 研修です。新任職員のOJ Tを担う人や職場研修担当 者向け。
						11月			
ストレスマネジメント研修	社会福祉施設・団体等に おいて、新任職員や職員 を指導する立場にある指 導監督的職員	100	100	1	1	11月	1	5,200	部下のストレスマネジメント に必要な知識・技術を学び たい管理職(事務長・施設 長・部長・課長等)向け。
リスクマネジメント研修 (虐待防止対策)	社会福祉施設・団体等に おいて、新任職員や職員 を指導する立場にある指 導監督的職員	120	120	1	1	7月	1	4,800	虐待について理解し、虐待 の未然防止・早期発見・対 応ができる手法を学ぶ
リスクマネジメント研修 (感染症対策)	社会福祉施設・団体等に おいて、新任職員や職員 を指導する立場にある指 導監督的職員	120	120	1	1	8月	1	4,800	新型コロナウイルスなどの感 染症について理解し、感染 源の特性に応じた予防や対 応策の基本を学ぶ
リスクマネジメント研修 (苦情・クレーム対応)	社会福祉施設・団体等に おいて、新任職員や職員 を指導する立場にある指 導監督的職員	120	120	1	1	10月	1	4,800	利用者の権利擁護等のた め、苦情・クレームについて 発生原因を理解し、正しい 対応方法などを学ぶ

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	延べ日数 (日)	受講料(円)	研修のねらい
トップマネジメント経営コース									
社会福祉協議会 新任局長研修	県内市区町村協の事務 局長及び事務局次長(お おむね1～2年未満の新任 者)	20	20	1	1	4月	1	3,200	社協組織の特性を学ぶと ともに、ベテラン事務局長 の話を聴き、局長業務を理 解する。
社会福祉法人 監事研修	社会福祉法人の監事等	100	100	1	1	2月	1	9,300	社会福祉法人の監事の役 割や監査時の留意点につ いて学ぶ。
財務・会計コース									
会計実務基礎講座 (通信課程)	社会福祉法人の会計担 当者及び財務管理担当 職員	70	70	3	1	6～11月	3	33,500	社会福祉法人の会計業務 の入門研修として、簿記を 含めた会計の基本を学ぶ。
会計実務担当者研修 (税務編)	社会福祉法人の会計担 当者及び財務管理担当 職員(概ね実務経験年数 3年以上の者)	100	100	1	1	9月	1	8,300	社会福祉法人会計基準に 基づく税務会計に関する知 識を学ぶ。
会計実務担当者研修 (予算・決算編)		120	120	1	1	1月	1	8,300	社会福祉法人会計基準に 基づく決算処理・予算編成 に関する知識を学ぶ。
社会福祉法人 財務管理研修	社会福祉法人の役員、施 設長、社協事務局長及び 財務担当職員	140	140	1	1	12月	1	8,300	事業活動計算書等の計算 書類による財務分析の方 法を学ぶ。

研 修 種 別			研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	延べ日数 (日)	受講料(円)	研修のねらい
福祉行政職員研修コース											
福祉行政機関新任職員研修			県及び市町で福祉行政に従事する新任職員	100	100	1	1	6月	1	4,100	福祉行政に従事する新任職員が対象です。社会福祉の理念と基礎的知識、技能を学ぶ。
生活保護	ケースワーカー研修	新任 (経験1年未満)	県・市福祉事務所等のケースワーカー	90	90	1	1	6月	1	無料	生活保護新任ケースワーカーが対象です。生活保護制度の基本事項、面接相談・相談援助に必要な知識・技術を学ぶ。
		中堅 (経験1年以上)		70	70	1	1	12月	1	無料	生活保護中堅ケースワーカーが対象です。生活保護制度の適正運営に必要な専門知識を学ぶ。
	医療扶助・介護扶助事務担当者研修		県・市福祉事務所等の医療扶助・介護扶助事務担当者	45	45	1	1	8月	1	無料	福祉事務所等の医療扶助・介護扶助事務担当者が対象です。医療扶助・介護扶助の適正運営に必要な専門知識を学ぶ。
	査察指導員研修		県・市福祉事務所等の査察指導員	30	30	1	1	9月	1	無料	福祉事務所等の査察指導員が対象です。生活保護ケースワーカーへのスーパーバイザーとして必要な専門知識を学ぶ。
子育て支援員研修											
子育て支援員基本研修			本研修事業に参加している市町在住で、地域子育て支援拠点事業の専任職員又は放課後児童クラブの補助員として従事することを希望する者・従事している者	240	120	2	2	7月	4	無料	子育て支援員として必要な基礎的な知識、原理、技術及び倫理を学ぶ。
								8月			
子育て支援員専門研修 (地域保育コース) ＜地域子育て支援拠点事業＞			子育て支援員として、小規模保育事業等の保育従事者等として従事することを希望する者・従事している者	240	120	2	2	8月	4	無料	子育て支援員として、小規模保育事業等の保育従事者等として従事するために必要な基礎的な知識、原理、技術及び倫理を学ぶ。
								9月			
子育て支援員専門研修 (地域子育て支援コース) ＜利用者支援事業＜基本型＞＞			本研修事業に参加している市町在住で、利用者支援事業の専任職員として従事することを希望する者・従事している者	60	60	2	1	11月	2	無料	子育て支援員として、利用者支援事業の専任職員として従事するために必要な基礎的な知識、原理、技術及び倫理を学ぶ。
子育て支援員専門研修 (地域子育て支援コース) ＜利用者支援事業＜特定型＞＞				20	60	2	1	11月	2		

※介護支援専門員関連

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	募集時期	研修日	クール数	実施時期	延べ日数 (日)	受講料(円) (予定)	研修のねらい	
介護支援専門員研修										
実務研修	後期	第23回 介護支援専門員実務研修受講試験合格者	352	－	1日目	2	4月～7月	2	介護支援専門員に求められる基本的な価値(態度)、知識、技術の修得と介護保険制度の理解および介護サービス計画等の作成手法や技術の修得	
					2～3日目	3		6		
					4日目	2		2		
					5～6日目	3		6		
					7日目	3		3		
	前期	第24回 介護支援専門員実務研修受講試験合格者	300	－	1～2日目	2	1月～3月	4		52,000 (テキスト・資料代別)
					3～4日目	2		4		
					5～6日目	3		6		
					7～8日目	3		6		
更新研修B・再研修		専門員証の交付を受けてから有効期間が満了するまでに実務経験を有しない介護支援専門員	935	1月～2月	1～2日目	4	4月～9月	8	28,000 (テキスト・資料代別)	介護支援専門員として必要な価値(態度)、知識、技術の保持・向上と実践力の強化、介護保険制度の理解および介護サービス計画等の作成手法や技術の修得
					3～4日目	4		8		
					5～6日目	12		24		
					7日目	4		4		
					8～9日目	12		24		
					10日目	12		12		
専門研修課程Ⅰ 更新研修A(前期)		実務経験6カ月以上の介護支援専門員	1,002	1月～2月	1～2日目	13	4月～8月	26	35,000 (テキスト・資料代別)	一定の実務経験をもとにした専門性の向上とケアマネジメントプロセスの理解、対人個別援助技術、保健・医療・福祉の基礎的な知識の修得
					3～5日目	4		12		
					6～7日目	13		26		
					8～9日目	13		26		
専門研修課程Ⅱ 更新研修A(後期)		実務経験3年以上の介護支援専門員	2,065	7月～8月	1日目	7	10月～2月	7	18,000 (テキスト・資料代別)	事例検討や演習を通じたケアマネジメントについての理解、自立支援、利用者本位の観点に基づくケアプランの作成および実践的なケアマネジメントスキルの修得
					2日目	27		27		
					3～4日目	27		54		
					5～6日目	27		54		
施設ケアマネジメント研修		介護保険3施設及び特定施設入居者生活介護に従事している介護支援専門員	210	12月	2	2	2月～3月	4	8,500 (テキスト代別)	施設における介護支援専門員の役割の理解と施設ケアプランを作成するために必要とされる知識、技術の修得

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	申込受付時期	コース数	実施日	延べ日数 (日)	手数料(円)	研修のねらい
介護支援専門員実務研修受講試験								
第24回介護支援専門員実務研修受講試験	保健・医療・福祉に関する国家資格及び都道府県知事資格に基づく当該資格に係る業務に従事する者	2,500	5月～6月	1	10月10日	1	9,800	介護支援専門員の養成にあたり、事前に必要な基礎知識などを有することを確認するために実施

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開催予定・日程等が変更になる場合があります。

4 令和2年度 福祉人材研修センター 研修実施状況一覧

(1) 研修実施状況一覧

は新型コロナウイルス感染症の影響により中止										
研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	受講人数 (人)	受講料(円)	研修のねらい	頁
種別新任コース										
社会福祉協議会新任職員研修	県内市区町村協新任職員	100	100	2	1			2,200 (2日分)	社協組織の特性を学ぶとともに、先輩職員や当事者の話を聴き、社協職員としての視点・役割を理解する。	15
保育所等新任保育士研修	保育所の新任保育士 認定こども園の新任保育教諭	200	100	1	2			4,100	講師、保護者・先輩保育士等の話を聴く中で、その役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。	15
児童福祉新任職員研修	児童養護施設等児童福祉施設(保育所等を除く)の 新任職員	50	50	1	1			4,100	講師、先輩職員の話を聴く中で、児童福祉施設の役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。	15
障害福祉新任職員研修	障害福祉施設・事業所の 新任職員	200	100	1	2			4,100	講師、障害当事者、先輩職員の話を聴く中で、障害福祉施設の役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。	15
高齢者福祉新任職員研修	高齢者福祉施設・事業所の 新任職員	100	50	1	2			4,100	業務の基本となる対人援助職としての基本姿勢から老人福祉施設の役割を学ぶとともに、自身が目指す職員像を描く。	16
新任フォローアップコース										
新任職員ステップアップ研修	社会福祉施設・社協等で勤務する勤務経歴1年以上概ね3年未満の職員	200 →120	60	1	2	10月13日	33	4,200	メンバーシップとコミュニケーションなど社会人・組織人としての基礎知識を学ぶとともに、中堅へのステップアップに向けた目標を設定する。	17
						11月13日	39			
社会福祉援助基礎コース										
はじめて福祉の仕事に就く人のための研修	福祉行政機関、社会福祉施設・事業所等職員で、社会福祉の基礎教育を受けていない職員	100 →60	60	2	2			4,100	社会福祉の現場で働く上での基礎を学びたい人向け。特に、対人援助に必要な価値、知識、技術を学ぶ。	18
						10月5日	47			
思いを伝えるコミュニケーション基礎研修	社会福祉施設・事業所で勤務する概ね1～3年目の 新任職員	100 →60	60	2	1	12月3日 12月18日	42	8,400 (2日分)	専門職・組織人として習得するべきコミュニケーション技術を学ぶ。	19
相談面接技術研修(初級)	社会福祉施設・社協等に勤務し、相談援助業務従事年数3年未満の職員(保育所保育士・認定こども園保育教諭を除く)	120 →60	60	2	2			8,400 (2日分)	コミュニケーションの基本を学びたい人向け。基礎的な相談面接技術を学ぶ。	20
						2月3日 2月4日	30			
相談面接技術研修(中級)	社会福祉施設・事業所等に勤務し、相談援助業務従事年数3年以上の職員(保育所保育士・認定こども園保育教諭を除く)	72	24	2	3			10,400 (2日分)	相談面接技術の実践力を高めたい人向け。自身の日ごろの実践を振り返りながら相談面接技術を学ぶ。	21

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	受講人数 (人)	受講料(円)	研修のねらい	頁
テーマ別中堅コース										
アセスメントスキル向上研修 (高齢・障害)	高齢・障害福祉施設・事業所等の中堅職員	80 →60	60	1	1	11月10日	40	4,100	利用者一人ひとりの特性とニーズを捉える方法を学び直したい中堅・リーダーの方向け。	22
子どもの理解と発達支援研修 (児童)	児童福祉施設等の中堅職員	100 →60	60	1	1	2月26日	38	4,100		23
アンガーマネジメント研修 (職業倫理と権利擁護研修)	社会福祉施設・事業所等の中堅職員	80 →60	60	1	1	10月23日	47	4,100	「利用者の尊厳を尊重し、人権を擁護する」支援・ケアを職場で実践し、伝える立場にある中堅・リーダーの方向け。	24
チームアプローチ実践研修	チームアプローチを実践する立場にあるチームリーダーや中堅職員	100 →60	60	1	1	10月21日	36	6,200	チーム形成に役立つファシリテーション力を身につけたい中堅・リーダーの方向け。	25
地域福祉コース										
地域福祉研修	社協、地域包括支援センター、社会福祉施設・事業所等の相談支援・地域支援従事者等	50	50	4	1			20,500 (4日分)	生活の場が施設であっても在宅であっても、「利用者の暮らしを地域とともに支えるとは！」「地域への貢献活動で具体的にどんな活動をすれば良いのか」を学ぶ。	26
職種・業種別コース										
看護職と介護職の連携力強化研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する看護職員・介護職員・相談支援業務に従事する職員 など	120 →60	60	1	1	1月27日	15	4,200	社会福祉施設における看護職員と介護職員等が対象。地域包括ケアに向けた看護・介護の連携視点と専門性を生かした多職種連携を学ぶ。	27
栄養士・調理師研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する栄養士、調理師、介護職等の栄養管理や給食に携わる管理職・職員	120	60	1	1			4,200	社会福祉施設に勤務する栄養士・調理師が対象。「食」を通じた利用者支援と現場での実践の工夫を学ぶ。	28
スーパーバイザー養成コース										
地域福祉ゼミナル	社協、地域包括支援センター、社会福祉施設・事業所等の相談支援・地域支援従事者等(原則として、地域福祉研修修了者)	20	20	4	1			24,800 (4日分)	地域福祉のコーディネーターとして地域生活支援や地域づくり支援に必要な知識・技術を学ぶ。	29
保育リーダーゼミナル	保育所・認定こども園で主任など指導的立場にある保育士・保育教諭	30	30	4	1			24,800 (4日分)	保育所等におけるリーダーとしての役割、スーパーバイズに必要な知識・技術を学びたい人向けです。	29
障害者福祉リーダーゼミナル	障害者福祉施設・事業所に勤務する指導的立場にある職員	20	20	4	1			24,800 (4日分)	援助課題の解決方策やリーダーとしての役割、スーパーバイズに必要な知識・技術を学ぶ。	29

研修種別	研修対象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	受講人数 (人)	受講料(円)	研修のねらい	頁
人材育成・マネジメントコース										
組織マネジメント基礎研修 (管理職研修)	社会福祉法人・事業所の 施設長・部門管理者(部 課長・フロアー長)、社会福 祉協議会事務局長等	50	50	2	1			16,600 (2日分)	管理職等の基本的な役割 と、組織マネジメントの基 本を体系的に学び、職場づ くりを生かしたい管理職(事 務長・施設長・部長・課長 等)向け。	37
職場定着・人事労務管理研修	社会福祉法人・事業所の 施設長・部門管理者(部 課長・フロアー長)、社会福 祉協議会事務局長等	300 →90	90	2	1	12月8日 2月16日	16	8,300 (2日分)	職場定着率を高めるために リーダーとして出来ること の理解、離職理由が高い事 由に対応するために必要な 知識・技術と、福祉現場で 生きる人事・労務管理の知 識・方法を学ぶ	30
人が育ち自分も伸びる リーダーシップ研修 ～信頼され安心感を与えるリー ダーになるためのポイント～	社会福祉施設・団体等で 勤務する管理職、現場 リーダー(係長や主任等)	180 →60	60	1	2		20	6,200	リーダーの基本的役割と課 題把握の方法を学びたい リーダー層(主任、係長等) 向け。	31
コーチング研修 ～人と組織を動かす コミュニケーション技法～	社会福祉施設・団体等で 勤務する管理職、現場 リーダー(係長や主任等)	180 →60	60	1	2		57	6,200	コーチングの基本を学びたい リーダー層(主任、係長等) 向け。	32
OJTリーダー養成研修 (基礎編)	社会福祉施設・団体等で 勤務する管理職、新任職 員のOJTを担当する職員	100 →60	60	1	1	10月6日	46	4,200	OJTの重要性、OJT担当 者の役割と進め方など、OJ Tの「基本のき」を学ぶ。	33
OJTリーダー養成研修 (実践編)	社会福祉施設・団体等で 新任職員のOJTを担当す る職員	60	60	2	1	11月6日 1月12日	39	8,400 (2日分)	OJTを職場で実践するプラン を立て、実行・評価するこ ろまでがパッケージになった 研修。新任職員のOJTを 担う人や職場研修担当者 向け。	34
ストレスマネジメント研修	社会福祉施設・団体等に おいて、新任職員や職員 を指導する立場にある指 導監督的職員	100 →60	60	1	1	11月16日	31	5,200	部下のストレスマネジメント に必要な知識・技術を学び たい管理職(事務長・施設 長・部長・課長等)向け。	35
接遇・日常マナーリーダー研修	社会福祉施設・団体等に おいて、新任職員や職員 を指導する立場にある指 導監督的職員	70 →60	60	2	1	1月21日 1月22日	32	10,400 (2日分)	利用者や家族への基本的 なマナーを復習したい人、 職場で伝え指導する立場 にある人向け。	36
トップマネジメント経営コース										
社会福祉協議会 新任局長研修	県内市区町村協会の事務 局長及び事務局次長(お おむね1～2年未満の新任 者)	15	15	1	1			3,100	社協組織の特性を学ぶと ともに、ベテラン事務局長 の話を聴き、局長業務を理 解する。	38
社会福祉法人 理事・評議員研修	社会福祉法人の理事・評 議員等	100	100	1	1			9,300	社会福祉法人の理事・評 議員の役割や社会福祉法 人の経営課題について学 ぶ。	38

研 修 種 別			研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	受講人数 (人)	受講料(円)	研修のねらい	頁
財務・会計コース												
会計実務基礎講座 (通信課程)			社会福祉法人の会計担当 者及び財務管理担当 職員	70	70	3	1	6～11月 (スクーリング 及び動画配 信)	57	33,500	社会福祉法人の会計業務 の入門研修として、簿記を 含めた会計の基本を学ぶ。	39
会計実務担当者研修 (税務編)			社会福祉法人の会計担 当者及び財務管理担当 職員(概ね実務経験年数 3年以上の者)	100	100	1	1	9月24日	32	8,300	社会福祉法人会計基準に 基づく税務会計に関する知 識を学ぶ。	41
会計実務担当者研修 (予算・決算編)				-	-	1	1	1月26日 (動画配信)	45	8,300	社会福祉法人会計基準に 基づく決算処理・予算編成 に関する知識を学ぶ。	41
社会福祉法人 財務管理研修			社会福祉法人の役員、施 設長、社協事務局長及び 財務担当職員	-	-	1	1	2月10日 2月17日 (動画配信)	42	8,300	事業活動計算書等の計算 書類による財務分析の方 法を学ぶ。	42
福祉行政職員研修コース												
福祉行政機関新任職員研修			県及び市町で福祉行政に 従事する新任職員	100	100	1	1			4,000	福祉行政に従事する新任 職員が対象です。社会福 祉の理念と基礎的知識、 技能を学ぶ。	45
生活 保 護	ケース ワーカー 研修	新任 (経験1年未満)	県・市福祉事務所等の ケースワーカー	60	60	1	1	10月9日	69	無料	生活保護新任ケースワ ーカーが対象です。生活保護 制度の基本事項、面接相 談・相談援助に必要な知 識・技術を学ぶ。	43
		中堅 (経験1年以上)		70	70	1	1			無料	生活保護中堅ケースワ ーカーが対象です。生活保護 制度の適正運営に必要な 専門知識を学ぶ。	45
	医療扶助・介護扶助 事務担当者研修		県・市福祉事務所等の医 療扶助・介護扶助事務担 当者	45	45	1	1			無料	福祉事務所等の医療扶 助・介護扶助事務担当者 が対象です。医療扶助・介 護扶助の適正運営に必要 な専門知識を学ぶ。	45
	査察指導員研修		県・市福祉事務所等の査 察指導員	30	30	1	1	12月4日	23	無料	福祉事務所等の査察指 導員が対象です。生活保護 ケースワーカーへのスーパ バイザーとして必要な専門 知識を学ぶ。	44

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	1コースあたり 人数(人)	1コースあたり 日数(日)	コース数	実施日	受講人数 (人)	受講料(円)	研修のねらい	頁
子育て支援員研修										
子育て支援員基本研修	本研修事業に参加している市町在住で、地域子育て支援拠点事業の専任職員又は放課後児童クラブの補助員として従事することを希望する者・従事している者	300 →160	80	2	2	9月1日 9月2日	73	無料	子育て支援員として必要な基礎的な知識、原理、技術及び倫理を学ぶ。	46
						9月17日 9月18日	76			
子育て支援員専門研修 (地域保育コース)	子育て支援員として、小規模保育事業等の保育従事者等として従事することを希望する者・従事している者	300 →160	80	2	2	9月14日 9月15日	70	無料	子育て支援員として、小規模保育事業等の保育従事者等として従事するために必要な基礎的な知識、原理、技術及び倫理を学ぶ。	48
						9月28日 9月30日	54			
子育て支援員専門研修 (地域子育て支援コース) ＜利用者支援事業＜基本型＞＞	本研修事業に参加している市町在住で、利用者支援事業の専任職員として従事することを希望する者・従事している者	70 →50	50	2	1	11月4日 11月6日	43	無料	子育て支援員として、利用者支援事業の専任職員として従事するために必要な基礎的な知識、原理、技術及び倫理を学ぶ。	50
子育て支援員専門研修 (地域子育て支援コース) ＜利用者支援事業＜特定型＞＞		30 →20	20	2	1	11月4日 11月6日	12			

※介護支援専門員関連

研 修 種 別		研 修 対 象	計画人数 (人)	研修日	クール数	実施日	受講人数 (人)	受講料(円)	研修のねらい	頁
介護支援専門員研修										
実務研修	後期	第22回 介護支援専門員実務研修受講試験合格者	395	1日目	2	4月～7月	378	42,000 (テキスト・資料代別)	介護支援専門員に求められる基本的な価値(態度)、知識、技術の修得と介護保険制度の理解および介護サービス計画等の作成手法や技術の修得	52
				2～3日目	3					
				4日目	2					
				5～6日目	3					
	前期	第23回 介護支援専門員実務研修受講試験合格者	300	7日目	3	1月～3月	347	42,000 (テキスト・資料代別)		
				1～2日目	2					
				3～4日目	2					
				5～6日目	3					
更新研修B・再研修	専門員証の交付を受けてから有効期間が満了するまでに実務経験を有しない介護支援専門員	600	7～8日目	3	8月、 10月～3月	764	28,000 (テキスト・資料代別)			
			1～3日目	3						
			4日目	3						
			5～6日目	14						
			7日目	3						
専門研修課程Ⅰ 更新研修A(前期)	実務経験6カ月以上の介護支援専門員	490	8～9日目	14	コロナウイルスの影響により延期	-	35,000 (テキスト・資料代別)			
			10日目	14						
			1～2日目	6						
			3～5日目	2						
			6～7日目	6						
専門研修課程Ⅱ 更新研修A(後期)	実務経験3年以上の介護支援専門員	1,095	8日目	6	コロナウイルスの影響により延期	-	18,000 (テキスト・資料代別)			
			1日目	4						
			2日目	12						
			3～4日目	12						
施設ケアマネジメント研修	介護保険3施設及び特定施設入居者生活介護に従事している介護支援専門員	210	5～6日目	12	2月9日 2月10日	92	8,500 (テキスト代別)			
									施設における介護支援専門員の役割の理解と施設ケアプランを作成するために必要とされる知識、技術の修得	61

研 修 種 別	研 修 対 象	計画人数 (人)	コース数	試験期日	受験 申込者数	手数料(円)	研修のねらい	頁
介護支援専門員実務研修受講試験								
第23回介護支援専門員実務研修受講試験	保健・医療・福祉に関する国家資格及び都道府県知事資格に基づく当該資格に係る業務に従事する者	2,500	1	10月11日	2,516	9,800	介護支援専門員の養成にあたり、事前に必要な基礎知識などを有することを確認するために実施	62

(2) 研修実施概要

ー種別新任コースー

次の5つの研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	社会福祉協議会新任職員研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	2,200 円
4. 目 的	社会福祉協議会が地域のニーズに応え、地域福祉推進の要としての役割を果たせるよう、社協活動を担う職員として必要な基本的視点や姿勢を学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	原則として在職期間1年未満の県内社協職員		
8. 受講人数	ー		

1. 研 修 名	保育所等新任保育士研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,100 円
4. 目 的	社会、地域における保育所・認定こども園の役割及び保育士・保育教諭に期待される姿勢・視点を理解するとともに、保育現場での意欲的な実践につなげることを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（神戸市・姫路市内除く）公立・民間保育所（園）に勤務する保育士および認定こども園に勤務する保育教諭で、勤務経験年数1年未満の者、または勤務経験年数2年未満で昨年度本会主催の新任職員研修を受講していない者		
8. 受講人数	ー		

1. 研 修 名	児童福祉新任職員研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,100 円
4. 目 的	社会的養護など児童福祉を取り巻く情勢と児童福祉施設の役割・特性を理解し、施設職員として求められる基本姿勢や専門性について学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（神戸市除く）児童福祉施設（児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院等）に勤務する職員で、在職期間1年未満の方、または在職期間2年未満で本会主催の新任職員研修を受講していない方 ※保育所及び障害児施設を除く		
8. 受講人数	ー		

1. 研 修 名	障害福祉新任職員研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,100 円
4. 目 的	社会、地域における障害福祉施設の役割及び利用者の生活を支えるうえで求められる基本姿勢・視点を理解するとともに、施設での実践に向け意欲を高めることを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（神戸市・姫路市除く）障害福祉施設・事業所に勤務する職員で、在職期間1年未満の方、または在職期間2年未満で本会主催の新任職員研修を受講していない方		
8. 受講人数	ー		

ー種別新任コースー

1. 研 修 名	高齢者福祉新任職員研修		
2. 種 別	県指定管理研修	・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費 4,100 円
4. 目 的	高齢者福祉を取り巻く情勢と施設職員の役割を理解し、利用者の尊厳や主体性を保持した支援、多職種と協働した福祉サービスの実践について学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（神戸市・姫路市除く）高齢者福祉施設・事業所に勤務する職員で、在職期間 1 年未満の方、または在職期間 2 年未満で本会主催の新任職員研修を受講していない方		
8. 受講人数	ー		

ー新任フォローアップコースー

1. 研 修 名	新任職員ステップアップ研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,200 円
4. 目 的	社会福祉施設・社協・事業所等に勤務する概ね3年未満の新任職員が、専門職・組織人として習得すべき仕事の基本姿勢とセルフマネジメントの基本を身につけるとともに、今後、中堅職員にステップアップするうえでの目標を描くことを目的とする。		
5. 実 施 日	Aコース：令和2年10月13日（火） Bコース：令和2年11月13日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉法人の施設・社協・事業所等で勤務する1年以上、概ね3年未満の職員		
8. 受講人数	72名（A：33名 B：39名）		

●講 師 一般財団法人野外活動協会（OAA）
専務理事・生涯学習コーディネーター 清水 勲夫氏

●プログラム

日時	研修科目／講師名	研修内容
A 10 月 13 日 ・ B 11 月 13 日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 ～ 12：00 【講義・演習】 「福祉のプロ・組織人に求められる 仕事の基本姿勢」	1. 戸惑いや疑問を含めて自身の業務を 振り返り、問題点や課題を明らかにす る 2. 専門職・組織人として求められる能 力・知識・技術について理解する 3. 受講者間で、これまでをふり振り返り共有 する（グループづくり）
	13：00 ～ 16：30 【講義・討議・演習】 「中堅職員へのステップアップに向けて」 ～現状の検証から次の一手を探り そして、次への一歩を踏み出す～	1. 職務におけるリーダーシップを学び、 メンバー育成や業務の円滑な推進に ついて学ぶ 2. 連携を促進するコミュニケーション・ファシリテーションの基本を学ぶ 3. 自身の今後の目標や課題を見出す
	16：30 閉講／アンケート記入	

ー社会福祉援助基礎コースー

1. 研 修 名	はじめて福祉の仕事に就く人のための研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,100 円
4. 目 的	社会福祉施設・事業所や行政・相談機関など、福祉の現場で働き始めた人にとって、社会福祉に携わる者として知っておくべき基本的なこと・大切なことがあります。 利用者その人と向き合い、尊重し、理解していく際の基本的な考え方や視点を身につけ、これから福祉の専門職として育っていくための土台となる大切なポイントについて学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	Aコース：新型コロナウイルスの影響により中止 Bコース：令和2年10月5日(月)	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	下記の①②のいずれかに該当し、原則、社会福祉に関する専門教育を受けていない職員 ①県内の社会福祉施設、社会福祉協議会に勤務する職員（神戸市内の施設・社協、姫路市内の施設、保育所保育士は除く） ②県健康福祉事務所、県内の各市福祉事務所、県立女性家庭センター、知的障害者更生相談所、身体障害者更生相談所、こども家庭センター、明石学園に勤務する職員（神戸市・姫路市所管を除く）		
8. 受講人数	47 名		

●講 師 武庫川女子大学教育学部 講師 藤野 ゆき氏

●プログラム

日時		研修科目	研修内容
10月5日	10:10	開講／オリエンテーション	
	10:20 ～ 12:00	【講義・演習】 「福祉で働く人に欠かせない考え方や判断基準を知ろう」	1. 福祉で働く人に必要な基本的な理念を学ぶ（人権の尊重、尊厳の保持、ノーマライゼーション等） 2. 福祉で働く人が持つておくべき判断基準やルールを学ぶ
	13:00 ～ 17:00	【講義・演習】 「その人らしさを理解するために必要なポイント」	1. 人間を知る、自分を知る 2. ジレンマを抱えた時、あなたはどうする？ 3. 私たちを取り巻く生活環境を知る 4. 福祉で働く人に求められる基本的態度
	17:00	閉講／アンケート記入	

ー社会福祉援助基礎コースー

1. 研 修 名	思いを伝えるコミュニケーション基礎研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	8,400 円
4. 目 的	福祉現場では、近年福祉を学んでいない新任職員の増加や中高年者も含めた多様な人材が働く場となっており、他者とのコミュニケーションに悩む職員も多い。本研修は、社会福祉施設・事業所に勤務する概ね1～3年目の新任職員が、自分のコミュニケーションの改善点に気付くとともに、専門職・組織人として必要なコミュニケーションの基礎知識と基本的スキルについて学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	1 日目：令和2年12月3日(木) 2 日目：令和2年12月18日(金)	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉施設・事業所で勤務する概ね1～3年目の新任職員		
8. 受講人数	42 名		

- 講 師 1 日目：なにわ生野病院 大阪メンタルヘルス総合センター
公認心理士・臨床心理士・医療心理士 高橋 美智子氏
2 日目：関西福祉科学大学 社会福祉学部 教授 都村 尚子氏

●プログラム

日時	研修科目／講師名	研修内容
12月3日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 ～ 12：00 【講義・演習】 「相手に伝わる話し方」	1. 自分の思考や行動のクセを振り返る 2. 自分の意見をどう相手に伝えるか
	13：00 ～ 15：00 【講義・演習】 「アサーティブ・コミュニケーションを体験してみよう」	1. アサーティブ・コミュニケーションとは 2. 事例を通して、体験してみる
	15：10 ～ 16：30 【講義・演習】 「社会福祉従事者のためのストレス対処とセルフケア」	1. 対人援助職として、ストレスに対処する上でのセルフケアの考え方と方法
	16：30 1 日目終了／アンケート記入	
12月18日	10：00 ～ 12：00 【講義・演習】 「社会福祉援助とコミュニケーション技術Ⅰ」	1. コミュニケーションの意義 2. コミュニケーションの概要と環境
	13：00 ～ 17：00 【講義・演習】 「社会福祉援助とコミュニケーション技術Ⅱ」	1. 利用者の特性に応じたコミュニケーション
	17：00 閉講／アンケート記入	

－社会福祉援助基礎コース－

1. 研 修 名	相談面接技術研修（初級）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	8,400 円
4. 目 的	様々な問題やニーズを持つ利用者を理解するための相談面接の知識・技術を学び、援助者としてのコミュニケーション力を高めることを目的とする。		
5. 実 施 日	Aコース：新型コロナウイルスの影響により中止 Bコース：令和3年2月3日(水)～4日(木)	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	下記の①②のいずれかに該当し、相談援助業務の従事年数が3年未満の職員 ①県内の社会福祉施設、社会福祉協議会で勤務し、相談援助業務に従事する職員（神戸市内の施設・社協、保育所保育士は除く） ②県健康福祉事務所、県内の各市福祉事務所、県立女性家庭センター、知的障害者更生相談所、身体障害者更生相談所、こども家庭センター、明石学園で主として相談援助業務に携わる職員（神戸市所管を除く）		
8. 受講人数	30 名		

●講 師 関西学院大学人間福祉学部 准教授 川島 恵美氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
2月3日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 ～ 12：30 【講義・演習】 「基本的コミュニケーション」	1. コミュニケーションの基本 2. コミュニケーションのチャンネル (言語・準言語・非言語レベル)
	13：30 ～ 16：30 【演習】 「きくこと・はなすこと」	1. よりよい聞き手・話し手として大切なこと 2. 「きく」ということ (1) 訊く (2) 聞く (3) 聴く
	16：30 1日目終了	
2月4日	10：00 ～ 12：30 【講義・演習】 「援助的コミュニケーション」	1. 援助とは何か 2. 利用者理解のための援助的コミュニケーションスキル 3. かかわり行動・言語反応のバリエティ
	13：30 ～ 16：00 【演習】 「援助場面における応答パターン演習」	1. 援助場面の応答パターン練習 (1) プロセスレコード作成 (2) ロールプレイング・フィードバック (3) 全体分かち合い
	16：00 【まとめと振り返り】	1. 質疑応答 2. 今後の実践に向けた振り返り
	16：00 閉講／アンケート記入	

－社会福祉援助基礎コース－

次の研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	相談面接技術研修（中級）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	10,400 円
4. 目 的	様々な問題やニーズを持つ利用者を理解するための相談面接の知識・技術を学び、援助者としてのコミュニケーション力を高めることを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	関西学院大学 人間福祉学部多機能演習室
7. 対 象 者	下記の①②のいずれかに該当し、相談援助業務の従事年数が3年以上の職員 ①県内の社会福祉施設、社会福祉協議会で勤務し、相談援助業務に従事する職員（神戸市内の施設・社協、保育所保育士は除く） ②県健康福祉事務所、県内の各市福祉事務所、県立女性家庭センター、知的障害者更生相談所、身体障害者更生相談所、こども家庭センター、明石学園で主として相談援助業務に携わる職員（神戸市所管を除く）		
8. 受講人数	－		

ーテーマ別中堅コースー

1. 研 修 名	アセスメントスキル向上研修（中堅職員向け/高齢・障害コース）		
2. 種 別	県指定管理研修・県補助研修・自主研修	3. 参 加 費	4,100 円
4. 目 的	中堅職員が、自らの実践を振り返るとともに、支援に必要なアセスメント（事前評価）の視点を学び、「仮説と検証」の方法を身につけることを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年11月10日（火）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（神戸市・姫路市除く）高齢・障害分野の社会福祉施設・事業所に勤務する職員で経験年数が概ね3年以上の中堅職員（管理者を除く）		
8. 受講人数	40 名		

●講 師 兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
11 月 10 日	10：20	開講／オリエンテーション
	10：30 ～ 12：30	【講義】 「アセスメントの基本を学ぼう」 1. アセスメントとは何か 2. 人を理解するということ 3. 援助職中心ではなく利用者（当事者） 中心のアセスメントの視点と方法
	13：30 ～ 16：30	【演習・講義】 「事例から学ぼう！アセスメントの実践ポイント」 1. 高齢・障害者への支援事例を通して、アセ スメントに必要となる基本的な視点と方 法を理解する
	16：30	閉講／アンケート記入

ーテーマ別中堅コースー

1. 研 修 名	子どもの理解と発達支援研修（中堅職員向け/児童）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,100 円
4. 目 的	質の高い保育・支援のためには、一人ひとりの子どもを理解するとともに、家族を含めた子どもを取り巻く環境理解の視点（アセスメント）が必要である。 本研修では、気になる子ども・発達障害の子どもの支援に欠かせないアセスメントの基本と活用について学び、日ごろの保育・支援のヒントを得ることを目的とする。		
5. 実 施 日	令和3年2月26日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	①県内（神戸市を除く）の児童福祉施設（保育所を除く）に勤務する経験年数が概ね3年以上の職員 ②県内（神戸市・姫路市を除く）の保育所に勤務する経験年数が概ね3年以上の保育士 ※いずれも、所長・園長等の管理職及び経験年数1年未満の新任保育士は除く		
8. 受講人数	38 名		

●講 師 武庫川女子大学 教育学部教育学科 准教授 鶴 宏史氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
2月26日	10:20 開講／オリエンテーション	
	10:30 ~ 12:00 【講義】 「発達が気になる子どもの理解と支援の基本」 ・ 発達障害の特徴 ・ 年齢別の状態と特徴 （乳児期、幼児期、学齢期） ・ 発達障害の判断（情報収集） ・ 年齢別の対応	1. 発達障害の理解と生活支援 2. ライフステージの視点で捉える 3. 保護者支援に必要な視点とは
	13:00 ~ 16:30 【講義・演習】 「子どもの理解から関わり・支援へ ～支援上の「困難さ」や「引っかかり」にどう対応していくか～」	1. 現場で感じる支援上の「困難さ」や「引っかかり」を共有 2. 他施設での取り組みの情報交換 3. 明日からの実践に向けて、子どものアセスメントと支援を考える
	16:30 閉講／アンケート記入	

ーテーマ別中堅コースー

1. 研 修 名	アンガーマネジメント研修（職業倫理と権利擁護研修）		
2. 種 別	県指定管理研修	・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費 4,100 円
4. 目 的	利用者に対してより良い支援を行うために、自分の感情と上手に向き合う方法について学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年10月23日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（神戸市・姫路市除く）社会福祉施設・事業所に勤務する職員で経験年数が概ね3年以上の中堅職員		
8. 受講人数	47 名		

●講 師 株式会社ナースハート 代表取締役 井上 泰世氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
10 月 23 日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 【講義・演習】 「福祉専門職に求められる アンガーマネジメントの基本的理解」	1. 「怒り」の感情とは 2. アンガーマネジメントの必要性 3. 揺れ動く感情との向き合い方
	12：00	
	13：00 【講義・演習】 「支援をめぐる葛藤にどう向き合うか ～怒りの感情をコントロールする～」	1. 「怒り」の感情のコントロール方法 2. 自らが抱える葛藤に気付く
	16：30 閉講／アンケート記入	

ーテーマ別中堅コースー

1. 研 修 名	チームアプローチ実践研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	6,200 円
4. 目 的	社会福祉施設・事業所でファシリテーションを実践する立場にある職員に必要な、個人やチーム内におけるコミュニケーション力やファシリテーション技術を高める方法を学ぶとともに、効率的・効果的な会議やミーティングの場の運営方法を習得することを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年10月21日（水）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉法人の施設・事業所に勤務する職員で、原則としてチームアプローチを進める立場にあるチームリーダー（係長や主任等）や中堅職員（概ね経験年数が3年以上の職員）		
8. 受講人数	36 名		

●講 師 株式会社ふくなかまジャパン 代表取締役社長 眞辺 一範氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
10月21日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 【講義・演習】	1. ファシリテーションの意義と目的
	～ 「チームという“場”を活かした	2. チームメンバー間で相互作用がおこる
	12：00 基本的なファシリテーションの視点」	場づくりに必要な視点とスキル
	13：00 【演習】	1. カンファレンスやミーティング等の会議運営の方法
	～ 「具体的な会議の進め方を学ぶ」	
	16：30	
	16：30 閉講／アンケート記入	

ー地域福祉コースー

次の研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	地域福祉研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	20,500 円
4. 目 的	利用者個人だけでなく地域に働きかけ、地域住民と協働する福祉専門職の養成に向け、地域福祉の基本を習得することを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	下記の①～⑦のいずれかに該当する県内の地域福祉に関心のある社会福祉従事者で、実務経験が3年以上及び全日程参加できる方 ①社会福祉協議会の地域担当部・ボランティアセンター職員、日常生活自立支援事業・生活資金貸付事業等の担当職員 ②地域包括（在宅介護）支援センター・居宅介護支援事業所・障害（児）者の相談支援事業所・児童家庭支援センター・生活困窮者自立相談支援事業所等の相談援助職 ③生活支援コーディネーター ④行政機関（福祉事務所のケースワーカー等）の相談援助職 ⑤社会福祉施設・事業所（デイサービスなどの通所施設含む）における生活相談員、生活支援員、児童指導員 ⑥保育所の保育士、認定こども園の保育教諭 ⑦その他、地域福祉に関心のある社会福祉従事者		
8. 受講人数	ー		

一職種・業種別コース

1. 研 修 名	看護職と介護職の連携力強化研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,200 円
4. 目 的	社会福祉施設・事業所における看護・介護職員が、利用者の生活や利用者主体のケアを支える上で必要な連携力を高めるため、相互の役割や専門性を理解したうえで、連携することで目指すべき目的や現場で行う具体的なチームアプローチについて考えることを目的とする。		
5. 実 施 日	令和3年1月27日（水）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	兵庫県内の社会福祉施設・事業所に勤務する看護職員、介護職員（障害福祉施設における保育士・支援員も含む）		
8. 受講人数	15 名		

- 講 師 平磯あんしんすこやかセンター 管理者 鶴本 和香氏
社会福祉法人関寿会 はちぶせの里 統括管理者 中野 穰氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
1 月 27 日	10:20 開講／オリエンテーション	
	10:30 【講義・演習】	1. 相互の役割と専門性の理解
	～ 「看護職・介護職の連携」	2. 「多職種連携」は何のために必要なのか、その意味と目的を知る
	11:10 多職種協働とは？	
	11:10 【演習】	1. 事例からアセスメントの7つの領域を
	～ 「事例から多職種協働を考える」	応用して各専門職の役割を振り返る
	16:30	
	16:30 閉講／アンケート記入	

－職種・業種別コース－

次の研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	栄養士・調理師研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,200 円
4. 目 的	社会福祉施設で勤務する栄養士・調理師として、自らの専門性をより発揮しながら、利用者の生活を支えていくための知識を学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉施設に勤務する栄養士、調理師など栄養管理や給食に携わる職員		
8. 受講人数	－		

ースーパーバイザー養成コースー

次の３つの研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	地域福祉ゼミナール		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	24,800 円
4. 目 的	社会福祉従事者が、コミュニティワーク（地域づくり）を学ぶとともに、チームで地域福祉実践に携わる上で必要となる知識・技術を学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	①下記２点を満たす市町社会福祉協議会職員 (1) 地域福祉部門において、後輩の指導・育成を担う立場の方（係長・主任等） (2) コミュニティワークの実践経験が概ね３年以上ある方		
8. 受講人数	－		

1. 研 修 名	保育リーダーゼミナール		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	24,800 円
4. 目 的	これまでの保育実践を客観的かつ論理的に振り返るとともに、主任保育士として自身の実践力の向上のみならず、職場におけるスーパーバイザーとしての役割を果たすための知識・技術の習得を目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内（姫路市除く）保育所、認定こども園に勤務し、全４回通じて受講できる主任級保育士（新任保育士及び所長を除く）		
8. 受講人数	－		

1. 研修名	障害福祉リーダーゼミナール		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参加費	24,800 円
4. 目 的	これまでの実践を客観的かつ論理的に振り返るとともに、主任級の職員として、自身の実践力の向上のみならず、職場におけるスーパーバイザーとしての役割を果たすための知識・技術の習得を目的とする。		
5. 実施日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対象者	県内の障害福祉施設に勤務している主任級職員、若しくは経験年数が概ね５年以上の職員で、スーパーバイズを実施している、またはスーパーバイズを期待されている職員		
8. 受講人数	－		

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	職場定着・労務管理研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	8,300 円
4. 目 的	福祉職場の人材確保、定着の状況及び職員間の人間関係の構築の重要性について、理論や事例及びマネジメント等の手法を学び、職場定着率を高めるためにリーダーとして取り組むべき手法やポイント等を習得する。 また、働き方改革関連法令の内容とその対策を学ぶとともに、職場の活性化及び職員の能力向上につながる人事・労務管理制度、手法及びコツ等を理解することを目的とする。		
5. 実 施 日	1 日目：令和 2 年 12 月 8 日（火） 2 日目：令和 3 年 2 月 16 日（火）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内の社会福祉施設及び事業所で勤務する管理職		
8. 受講人数	16 名		

- 講 師 1 日目：㈱リクルートキャリア HELPMANJAPAN グループ 坂本 宗庸氏
2 日目：㈱エイデル研究所 経営支援部 勝本 康司氏

●プログラム

日時	研修科目／講師名	研修内容
12 月 8 日	13：00 開講／オリエンテーション	
	13：10 【講義】 「人材の確保及び定着状況と 職員間の人間関係構築の重要性」	1. 職員満足を高めるための「4 つの視点」 2. 事例紹介 3. 各階層別の定着・マネジメントポイント
	14：30 【ワークショップ】	1. 職場定着に関する各事業所等の取り組み
	16：30	
	16：30 1 日目終了／アンケート記入	
2 月 16 日	10：30 【講義】 「キャリアパスと人材育成」	1. 運用できるキャリアパス 2. 階層別の育成計画の作り方
	12：00	
	13：00 【講義・演習・まとめ】 「人材育成を目的とする人事考課」 「働きやすい職場環境」 「働き方改革と納得して選択できる働き方」	1. 福祉職場向けの人事考課制度 2. 育成で重要な面談の進め方 3. ワークライフバランス、両立支援の課題と対応策 4. 働き方改革法改正とその対応策 5. 育児・介護等で働き方に制限がある職員のモチベーションを下げない多様な働き方の設計
	16：30	
	16：30 2 日目終了／アンケート記入	

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	人が育ち、自分も伸びるリーダーシップ研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ <u>自主研修</u>	3. 参 加 費	6,200 円
4. 目 的	管理職、指導的職員が、リーダーに求められる役割及び組織の課題把握とその解決方法を学ぶことで、チームのマネジメント力を高めることを目的とする。		
5. 実 施 日	Aコース：新型コロナウイルスの影響により 中止 Bコース：令和2年11月30日（月）	6. 場 所	オンライン研修
7. 対 象 者	県内の社会福祉施設・事業所で勤務する管理職（例：施設長・社協事務局長、部課長・部門管理者など）、指導的職員（例：係長や主任、ユニットリーダーなど）		
8. 受講人数	20 名		

●講 師 日本女子大学人間社会学部 教授 久田 則夫氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
11 月 30 日	9：50	開講／オリエンテーション
	10：00 ～ 12：00	【講義・演習】 「求められるリーダーシップとは ～その視点と役割～」 1. 質の高い利用者支援に求められるリーダーの能力と行動 2. 4つのマネジメント推進とリーダーの役割 3. 福祉職場の現状把握
	13：00 ～ 14：50	【演習】 「リーダーとして職場の課題と いかに向き合い、対処するか」 1. 各職場で抱える問題や改善するべき点の討議 2. リーダーとしての実行プロセス 3. 業務を改善する行動計画づくり
	14：50 ～ 15：00	【まとめ・講評】 「明日からの実践に向けて」 1. リーダーとしての視点の再確認 2. 今後の実践に向けたポイント理解
	15：00	1日目終了／アンケート記入

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	コーチング研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	6,200 円
4. 目 的	管理職、指導的職員が、リーダーに求められる役割及び組織の課題把握とその解決方法を学ぶことで、チームのマネジメント力を高めることを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年9月10日（木）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内の社会福祉施設・事業所で勤務する管理職（例：施設長・社協事務局長、部課長・部門管理者など）、指導的職員（例：係長や主任、ユニットリーダーなど）		
8. 受講人数	57 名		

●講 師 株式会社ふくなかまジャパン 代表取締役社長 眞辺 一範氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
9 月 10 日	10：20	開講／オリエンテーション
	10：30 ～ 12：00	【講義・演習】 「チームメンバーの育成に必要な基本的な考え方 ～コーチングとその基本姿勢～」 1. O J Tとコーチングの概念・基本姿勢 2. コーチングに必要な基本スキル
	13：00 ～ 16：00	【講義・演習】 「育ち合うチームづくりとコーチングの実践」 1. ロールプレイを通じたチームメンバーへのコーチング
	16：00 ～ 16：30	【まとめ・振り返り】 「今後の行動計画を立てる」
	16：30	閉講／アンケート記入

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	O J Tリーダー養成研修（基礎編）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	4,200 円
4. 目 的	新任職員等のO J Tを担う職員（エルダー、O J Tリーダー等）に求められる役割を理解するとともに、O J Tを効果的に推進するための基礎的な方法を学ぶことを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年10月6日（火）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉施設・団体に勤務する職員で、新任職員や後輩の育成・指導を担うO J T担当者の経験年数が概ね3年未満の方		
8. 受講人数	46 名		

●講 師 関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 津田 耕一氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
10 月 6 日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 【講義】 ～ 「O J Tを理解しよう」 12：00	1. 職場研修の形態とO J T 2. O J Tの重要性 3. O J Tの意味と進め方
	13：00 【講義・演習】 ～ 「O J Tを担う者の役割とは」 14：30	1. O J Tを担う職員の心がまえと留意点 2. リーダー・管理職と連携した職場づくりと人材育成の方法
	14：40 【演習・まとめ】 ～ 「明日からの実践に向けた取り組み」 16：30	1. 自らの経験や実践を振り返る 2. O J Tの実際（業務を依頼・指示する際の手順やポイント）
	16：30 閉講／アンケート記入	

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	○ＪＴリーダー養成研修（実践編）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	8,400 円
4. 目 的	新任職員等の○ＪＴを担う職員（エルダー、○ＪＴリーダー等）が、○ＪＴの展開方法を踏まえながら的確に役割を遂行できるための知識や技術の習得を目的とする。		
5. 実 施 日	1 日目：令和 2 年 11 月 6 日（金） 2 日目：令和 3 年 1 月 12 日（火）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉施設・団体に勤務する職員で、新任職員や後輩の育成・指導を担う○ＪＴ担当者の経験年数が概ね 3 年以上の方		
8. 受講人数	39 名		

●講 師 関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 津田 耕一氏

●レポート・課題

修了	「○ＪＴ実践シートステップアップ版」に記入した内容に基づき職場内で実践に取り組み、「実践経過」及び「モニタリング」欄を含めたシートの各項目に記入しまとめる。
----	--

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
11月6日	10：20 開講／オリエンテーション	
	10：30 ～ 12：30 【実践報告】 「新任職員等への○ＪＴの実際」 ＜登壇者＞ オアシス西宮 田中 美智子氏 にこにこハウス医療福祉センター 東 靖枝氏	1. チームワークや意欲向上に向けた取り組み 2. 気になる職員の育成の取り組み
	13：30 ～ 16：45 【講義・演習】 「職員の育成上の課題を整理し、 ○ＪＴ実践計画を作成しよう」	1. 職員の育成上の課題整理と目標の検討 2. ○ＪＴ実践計画の作成
	16：45 1 日目終了	※1 日目終了後、職場での○ＪＴの実践
1月12日	10：20 ～ 12：30 【講義・演習】 「職場での実践の振り返り、 ○ＪＴ実践計画を改善しよう」	1. 1 日目に作成した実践計画に基づく職場での○ＪＴ実践の振り返り 2. 研修での学びを踏まえ、実践計画の改善を図る
	13：30 ～ 16：45 【講義・演習】 「教え方の工夫を学ぼう ～指導力の向上に向けて～」	1. ○ＪＴの実践における教え方 （“ホウ・レン・ソウ”の重要性と方法） 2. 職員とのコミュニケーションの図り方
	16：45 閉講／アンケート記入	

●修了レポート集の発行

研修修了後、研修の気づきと現場での活用についてレポートを作成し、レポート集としてとりまとめ、受講者に提供した。

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	ストレスマネジメント研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	5,200 円
4. 目 的	職員を管理監督する立場にある職員が、ストレスマネジメントの意義や重要性を理解するとともに、部下の心理的な健康状態を把握し、メンタル不調を予防するための方法や不調者への対応等ラインケアの知識・技術を習得することを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年11月16日（月）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉施設・団体に勤務する管理職（施設長、事務局長、部門管理者、係長、主任等）の者		
8. 受講人数	31 名		

- 講 師 なにわ生野病院 大阪メンタルヘルス総合センター
公認心理師・臨床心理士・医療心理士 高橋 美智子氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	【講義】 「ストレスの基礎知識とセルフケア」	1. ストレスの仕組み 2. 福祉職場のストレスの特徴 3. セルフケアとストレスマネジメント
11月16日 13:00 ～ 16:30	【講義・演習】 「管理監督者の役割とラインケアの進め方」	1. 4つのケアと管理監督者の役割 2. いつもと違う職員の把握と対応 3. 事例検討 4. コミュニケーションする際の方法と留意点 5. 職場環境改善へのアプローチ(ストレスチェックの活用)
16:30	閉講／アンケート記入	

ー人材養成・チームマネジメントコースー

1. 研 修 名	接遇・日常マナーリーダー研修		
2. 種 別	県指定管理研修・県補助研修・自主研修	3. 参 加 費	10,400 円
4. 目 的	対人援助サービスが基本である福祉職場において、職場でのマナーや、利用者・家族への対応の際に身につけておきたい作法や礼儀等の重要性を再確認しつつ、これらの業務に従事する職員を指導するリーダーとしての力量を高めることを目的とする。		
5. 実 施 日	1 日目：令和 3 年 1 月 21 日（木） 2 日目：令和 3 年 1 月 22 日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内の社会福祉施設・団体で新任及び一般職員を指導する立場にあり、当該の立場に従事してから概ね 3 年以上の者		
8. 受講人数	32 名		

- 講 師 トータルマナー株式会社 代表取締役 田野 直美氏（両日講義・演習担当）
アシスタント 西藤 稲美氏（1 日目演習担当）
アシスタント 藤本 志津恵氏（2 日目演習担当）

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
中止	10:20 開講／オリエンテーション	
	10:30 ～ 12:00 【全体講義】 「福祉サービスの心構えとマナー」	1. 福祉サービスの心構え 2. 服装と身だしなみの重要性とチェックポイント 3. 笑顔とあいさつの重要性とチェックポイント
	13:00 ～ 14:50 【講義・演習】 「利用者や家族との対応について」	1. 敬語の使い方(基本・使分け・応用) 2. 職場のマナー(職員間のあいさつ、言葉づかい) 3. クレームの対応(事例から学ぶ)
	15:00 ～ 16:30 【グループ別演習】 「職場におけるマナー①」	1. お辞儀(使分けとポイント) 2. 名刺交換のマナー(いただき方、扱い方) 3. 指示の受け方、報告の仕方
	16:30 1 日目終了	
	10:00 【1 日目の振返り】	
中止	10:10 ～ 12:00 【グループ別演習】 「職場におけるマナー②」 「サービス提供時のマナー①」	1. 電話対応のマナー(かけ方、受け方、取りつぎ方、不在時の対応、伝言の聞き方) 2. 家族・来客対応(基本、案内、応接、見送り)
	13:00 ～ 14:00 【グループ別演習】 「サービス提供時のマナー②」	1. 食事提供時のマナー(セットの仕方、配膳) 2. 茶菓のマナー(基本、セット、差出し)
	14:00 ～ 15:45 【グループ別演習】 グループワーク	1. 各職場での取り組みの現状と指導のあり方についての意見交換 2. マナー研修の取り組みについて検討
	16:00 ～ 16:45 【全体講義】 「グループ発表を踏まえて ～リーダーとしての役割と心構え～」	1. 研修全体の振返りと全体的な講評 2. プランニングシートを使用しながら、マナー研修を行う際のポイント・リーダーとしての心構えの再確認
	16:45 閉講／アンケート記入	

ー人材養成・チームマネジメントコースー

次の研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	組織マネジメント基礎研修（基礎編）（管理職研修）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	16,600 円
4. 目 的	社会福祉施設・事業所の管理職（特に新任者）に対し、管理職に求められる役割や心構えを理解し、法人や事業所、部署など組織の特性理解とマネジメントすることの意味・具体的な実践手法等を習得することを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	社会福祉施設・事業所の施設長・部門管理者（部課長・フロアー長）、社会福祉協議会事務局長等		
8. 受講人数	－		

ートップマネジメント経営コースー

次の２つの研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	社会福祉協議会新任局長研修			
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修		3. 参 加 費	3,100 円
4. 目 的	社会福祉協議会が地域のニーズに応え、地域福祉推進の要としての役割を果たせるよう、事務局長として必要な知識や基本的視点を身につけることを目的とする。			
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止		6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	原則として新任の事務局長及び支事務局次長			
8. 受講人数	－			

1. 研 修 名	社会福祉法人理事・評議員研修			
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修		3. 参 加 費	9,300 円
4. 目 的	社会福祉法の沿革と改正社会福祉法と、社会福祉法人の経営課題や健全な経営のあり方及び理事・評議員の果たすべき役割を学ぶ。また、コロナウイルス・虐待など社会福祉法人におけるリスクマネジメントについて考える			
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止		6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内で社会福祉事業を実施する社会福祉法人の理事（長）、評議員、施設長や事務局長等の法人経営にかかわる幹部職員			
8. 受講人数	－			

ー財務・会計コースー

1. 研 修 名	会計実務基礎講座（通信課程）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	33,500 円
4. 目 的	会計実務担当者の初任者に必要な会計業務に関する基礎知識の習得を目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年6月～11月 ＜スクーリング＞ 1回目：令和2年6月19日（金） 2回目：令和2年8月12日（水） 3回目：令和2年10月19日（月） 修了テスト：令和2年11月18日（水）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内の社会福祉法人・施設の会計担当初任者や社会福祉法人会計を基礎から学びたい方		
8. 受講人数	57 名		

●講 師 一般財団法人総合福祉研究会 三宅由佳税理士事務所 税理士 三宅 由佳氏

●プログラム

学習月	学習項目	課題の内容
6 月	6 月 19 日（金） スクーリング（オンライン）（1 回目） ・ 社会福祉法人のあり方と会計 ・ 計算書類について ・ 減価償却（入門編）	1. 科目および残高からの貸借対照表作成 2. 支払資金と純資産の計算 3. 計算書類（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書）間の関係性
7 月	・ 簿記・会計とは ・ 勘定科目 ・ 仕訳と転記 ・ 支払資金の取引	1. 支払資金関係取引の仕訳（基礎）と転記
8 月	8 月 12 日（水）スクーリング（2 回目） ・ 試算表の作成 ・ 6 桁精算表の作成	1. 支払資金会計取引の仕訳（応用）と転記 2. 6 桁精算表の作成
9 月	・ 固定資産と減価償却 ・ 8 桁精算表の作成（基礎）	1. 固定資産の取得、減価償却、売却、除却の処理 2. 8 桁精算表の作成（基礎）
10 月	10 月 19 日（月）スクーリング（3 回目） ・ 固定負債と引当金 ・ 基本金・国家補助金等特別積立金 ・ 8 桁精算表の作成（応用）	1. 固定負債と引当金に係る仕訳 2. 基本金・国庫補助金等特別積立金に係る仕訳 3. 8 桁精算表の作成（応用）
11 月	11 月 18 日（水）修了テスト ・ 修了テスト及び解説	1. 全課程のまとめ 2. 修了テスト及び解説、

●スクーリング日程

日時	研修科目	研修内容
6 月	オンライン研修	
19 日	10：00 【講義】 ～ 17：00	・ 社会福祉法人のあり方と会計 ・ 計算書類について ・ 減価償却（入門編）

ー財務・会計コースー

日時		研修科目	研修内容
8 月 12 日	13 : 30	開会／オリエンテーション	
	13 : 40 ～ 16 : 30	【講義】	・ 6、7 月分課題のポイント ・ 精算表に取り組んでいただく際のポイントほか
	16 : 30	閉会／アンケート記入	

日時		研修科目	研修内容
10 月 19 日	13 : 30	開会／オリエンテーション	
	13 : 40 ～ 16 : 30	【講義】	・ 受講内容の総復習
	16 : 30	閉会／アンケート記入	

日時		研修科目	研修内容
11 月 18 日	13 : 15	開会／オリエンテーション	
	13 : 30 ～ 15 : 00	【修了テスト】 「全課程のまとめ」	1. 修了認定試験
	15 : 10 ～ 15 : 45	【講義】 「修了テスト及び 月々の課題ポイントの解説」	1. 各月課題の解説 2. 修了テストの解説
	15 : 45	閉会／アンケート記入	

ー財務・会計コースー

1. 研 修 名	会計実務担当者研修（税務編）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ <u>自主研修</u>	3. 参 加 費	8,300 円
4. 目 的	法人の税務会計に関する正しい知識を身につけ、適正に処理する力を習得することを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年9月24日（木）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県内社会福祉法人・施設の会計責任者及び担当者		
8. 受講人数	32 名		

●講 師 田中正明税理士事務所 所長 税理士・行政書士 田中 正明氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
9 月 24 日	10:20 開講／オリエンテーション	
	10:30 ～ 14:30 【講義】 「社会福祉法人の税務Ⅰ」	1. 社会福祉法人の消費税 ・ 軽減税率制度 ・ 社会福祉法人における留意点
	14:30 ～ 16:30 【講義】 「社会福祉法人の税務Ⅱ」	1. 社会福祉法人の法人税・地方税 ・ 収益事業の該当性 ・ 地方税の非課税措置 2. 新型コロナウイルス関連 3. 源泉所得税・印紙税他 4. 最新動向を踏まえた留意事項
	16:30 閉講／アンケート記入	

1. 研 修 名	会計実務担当者研修（予算・決算編）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ <u>自主研修</u>	3. 参 加 費	8,300 円
4. 目 的	法人の予算・決算業務に関する正しい知識を身につけ、実務上の留意点を習得することを目的とする。		
5. 実 施 日	令和3年1月26日（火）	6. 場 所	オンライン研修
7. 対 象 者	県内社会福祉法人・施設の会計責任者及び担当者		
8. 受講人数	45 名		

●講 師 田中正明税理士事務所 所長 税理士・行政書士 田中 正明氏

●プログラム

日時	研修科目	研修内容
1 月 26 日	2 時間 【講義Ⅰ】 「社会福祉法人会計基準に基づく 決算・予算①」	1. 最新動向 2. 会計基準における決算書の体系と機能 3. 予算チェックリストによる確認
	3 時間 【講義Ⅱ】 「社会福祉法人会計基準に基づく 決算・予算②」	1. 決算チェックリストによる確認

ー財務・会計コースー

1. 研 修 名	社会福祉法人財務管理研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	8,300 円
4. 目 的	社会福祉法人の財務三表（事業活動計算書・資金収支計算書・貸借対照表）の見方と分析方法を学び、適正な経営を実現するための判断力を養うことを目的とする。		
5. 実 施 日	1 日目：令和 3 年 2 月 10 日（水） 2 日目：令和 3 年 2 月 17 日（水）	6. 場 所	オンライン研修
7. 対 象 者	県内社会福祉法人・事業所の役職員で、計算書類（事業活動計算書、資金収支計算書及び貸借対照表）についての知識及び計算書類に基づく経営分析方法を学び、経営状況の改善を図ろうとする者		
8. 受講人数	42 名		

●講 師 田中正明税理士事務所 所長 税理士・行政書士 田中 正明氏

●プログラム

日時		研修科目	研修内容
2 月 10 日	2.5 時間	【講義】 「社会福祉法人会計の基本」 ①会計の目的 ②社会福祉法人会計の特徴 ③計算書類の構造 ④附属明細書	1. 社会福祉法人会計の基本と特徴をおさえる
		【講義】 「計算書類・附属明細書の基本」 ①資金収支計算書に記載されていること ②事業活動計算書に記載されていること ③固定資産と減価償却について ④貸借対照表に記載されていること	1. 資金収支計算書の特徴と見方 2. 事業活動計算書の特徴と見方 3. 貸借対照表の特徴と見方

日時		研修科目	研修内容
2 月 17 日	1.5 時間	【事例による個人演習方法の解説】 「計算書類を読む」 ①主要分析指標の説明 ②各種指標の分析 ③財務分析の事例	1. 計算書類による財務分析の方法を学ぶ 2. 具体的に法人の計算書類から分析を行う

ー福祉行政職員コースー

1. 研 修 名	生活保護新任ケースワーカー研修		
2. 種 別	県指定管理研修・県補助研修・自主研修	3. 参 加 費	無料
4. 目 的	生活保護のケースワークを新たに担当する職員が、利用者の理解と対応に必要な知識・技術を身につけることを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年10月9日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	経験年数が1年未満の生活保護担当のケースワーカー		
8. 受講人数	69名		

●プログラム

日時	研修科目／講師名	研修内容
6 月 12 日	10：00 開講／オリエンテーション	
	10：10 ～ 11：00 【講義】 「生活保護制度について」 兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課 班長 福田 和生氏	1. 生活保護制度の概要 2. 生活保護の動向 3. 近年の見直しの取り組み
	11：15 ～ 12：00 【講義・演習】 「ケース記録の書き方について」 兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課 主任 寺井 浩一郎氏	1. ケース記録の書き方とその留意点 2. 援助方針の策定と具体例
	13：00 ～ 14：30 【意見交換等】 「先輩ケースワーカーの実践に学ぶ」 ＜発表者＞ 姫路市生活援護室第6担当 主事 長井 聖太氏 宝塚市健康福祉部生活援護課 一般職員 矢藤 渉氏 尼崎市北部保健福祉センター 北部保護第1担当 事務員 神吉 博子氏	＜発表内容＞ 1. ケースワーカーとして勤務した感想 2. 成功談・失敗談 3. ケースワーカーとして職務の際、心がけていること 4. 仕事のストレス発散方法 5. 後輩ケースワーカーに言っておきたいこと
	14：45 ～ 17：00 【グループ討議】 ＜発表者＞ 姫路市生活援護室第6担当 主事 長井 聖太氏 宝塚市健康福祉部生活援護課 一般職員 矢藤 渉氏 尼崎市北部保健福祉センター 北部保護第1担当 事務員 神吉 博子氏 ＜助言者＞ 兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課職員	＜討論議題＞ 1. ケースワーカー業務の進め方 2. 処遇困難ケースでの面談の進め方 3. 就労支援 4. その他
	17：00 閉講／アンケート記入	

ー福祉行政職員コースー

1. 研 修 名	生活保護査察指導員研修		
2. 種 別	県指定管理研修	・ 県補助研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費 無料
4. 目 的	生活保護の査察指導に携わっている職員が、スーパーバイザーとして求められる視点や役割について理解し、指導力の向上を図ることを目的とする。		
5. 実 施 日	令和2年12月4日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県健康福祉事務所・市福祉事務所（神戸市を除く）の生活保護査察指導員		
8. 受講人数	23 名		

●プログラム

日時	研修科目／講師名	研修内容
12月4日	10：30 開講／オリエンテーション	
	10：40～12：00 【講義】 「ギャンブル依存症について」 兵庫県健康福祉部障害福祉局いのち対策室 主幹 結城 嘉彦氏 兵庫県精神保健福祉センター 精神保健福祉専門員 岸本 和美氏	1. ギャンブル等依存症対策基本法、ギャンブル等依存症対策推進基本計画、兵庫県ギャンブル等依存症対策推進計画の3項目を中心にギャンブル等依存症対策にかかる制度や取組を説明 2. ギャンブル等依存症当事者の体験談 3. ひょうご・こうべ依存症対策センターの取組
	13：00～14：00 【行政説明】 「生活保護制度・自立支援の動向と課題」 厚生労働省社会・援護局保護課保護事業室 生活保護自立助長専門官 藤井 宏典氏	1. 生活保護制度の現状 2. 就労・自立支援 3. 子どもの貧困対策 4. 無料低額宿泊所の規制強化 単独で居住が困難な方への常生活支援 5. 平成30年改正生活保護法
	14：10～16：10 【グループ討議】 「スーパーバイザーとして求められる視点や役割」 (テーマは受講者からの提案に基づき設定) ＜助言者＞ 兵庫県健康福祉部社会福祉局地域福祉課職員	＜討論議題＞ 1. 査察指導業務 2. ケース処遇
	16：10 閉講／アンケート記入	

ー福祉行政職員コースー

次の3つの研修を新型コロナウイルスの影響により中止した。

1. 研 修 名	福祉行政機関新任職員研修		
2. 種 別	県指定管理研修	・県補助研修 ・自主研修	3. 参 加 費 4,000 円
4. 目 的	福祉行政に新たに従事する職員が、社会福祉に関する基礎的な知識と技術を学ぶとともに福祉制度利用者への理解を深めることを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県・市・町の福祉行政に従事している期間が1年未満の職員（神戸市・姫路市を除く）		
8. 受講人数	ー		

1. 研 修 名	生活保護中堅ケースワーカー研修		
2. 種 別	県指定管理研修	・県補助研修 ・自主研修	3. 参 加 費 無料
4. 目 的	生活保護の実務を担当する中堅職員が、利用者支援に必要な知識・技術を身につけることを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県健康福祉事務所・市福祉事務所に勤務する経験年数が1年以上の生活保護担当のケースワーカー（神戸市除く）		
8. 受講人数	ー		

1. 研 修 名	医療扶助・介護扶助事務担当者研修		
2. 種 別	県指定管理研修	・県補助研修 ・自主研修	3. 参 加 費 無料
4. 目 的	医療扶助・介護扶助事務を担当している職員が、事務処理上必要な知識の習得を行うとともに、課題について検討することで、職務能力の向上を図ることを目的とする。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	県健康福祉事務所・市福祉事務所（神戸市除く）の医療扶助・介護扶助事務担当職員		
8. 受講人数	ー		

ー子育て支援員コースー

1. 研 修 名	子育て支援員研修（基本研修）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県委託研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	無料
4. 目 的	地域型保育（小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業等）に従事することを希望する者に対し、必要な知識や技能等を修得し、「子育て支援員」として養成することを目的とする。		
5. 実 施 日	＜Aコース＞ 1日目：令和2年9月1日（火） 2日目：令和2年9月2日（水） ＜Bコース＞ 1日目：令和2年9月17日（木） 2日目：令和2年9月18日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	子育て支援員の資格を取得しようとする方で、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士等の資格を有しない方		
8. 受講人数	149名（A：73名、B：76名）		

●プログラム

日時	研修科目／講師名	研修内容
A 9 月 1 日 ・ B 9 月 17 日	10：50 開講／オリエンテーション	
	11：00～12：00 Aコース 【講義】 「子ども・子育て家庭の現状」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 子どもの育つ社会的環境 2. 子育て家庭の変容 3. 子どもの貧困とその連鎖
	12：00～14：00 Bコース 【講義】 「子どもの障害」 兵庫大学看護学部 教授 森田 恵子氏	1. 障害とは 2. 発達障害とは 3. 発達障害の子どもの困り感 4. 子どもの困り感の背景 5. 保護者の抱える子育ての難しさ
	13：00～14：00 【講義】 「保育の原理」 甲南女子大学人間科学部 教授 上田 淑子氏	1. 子どもという存在の理解 2. 生命の保持・情緒の安定 3. 健康の保持と安全管理
	14：10～15：10 【講義】 「子ども家庭福祉」 兵庫県健康福祉部少子高齢局児童課 こども安全官 青木 健司氏 兵庫県健康福祉部少子高齢局こども政策課 班長 沖本 明美氏	1. 子ども・子育て支援新制度の概要 2. 児童家庭福祉施策等 3. 児童家庭福祉に係る資源
	15：20～16：20 【講義】 「児童虐待と社会的養護」 兵庫県健康福祉部少子高齢局児童課 こども安全官 青木 健司氏	1. 児童虐待とその影響 2. 虐待の発見と通告 3. 児童福祉施設等の理解 4. 児童家庭福祉に関わる資源の理解 5. 子どもの権利を守る関わり 6. 社会的養護の現状
	16：20 1日目終了	

ー子育て支援員コースー

日時		研修科目／講師名	研修内容
A 9 月 2 日 ・ B 9 月 18 日	11：00 ～ 12：00	【講義】 「対人援助の価値と倫理」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 子育て支援拠点の役割 2. 援助的関係形成の原則 3. 倫理と価値について 4. 相談場面での技法
	13：00 ～ 14：00	【講義】 「子どもの発達」 神戸松蔭女子学院大学教育学部 教授 寺見 陽子氏	1. 発達の概念 2. 発達の原理 3. 発達段階と発達課題 4. 関係の中の発達 5. 今日の子どもの育ちと支援
	14：10 ～ 15：10	Aコース 【講義】 「子どもの障害」 兵庫大学看護学部 教授 森田 恵子氏 Bコース 【講義】 「子ども・子育て家庭の現状」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 障害とは 2. 発達障害とは 3. 発達障害の子どもの困り感 4. 子どもの困り感の背景 5. 保護者の抱える子育ての難しさ 1. 子どもの育つ社会的環境 2. 子育て家庭の変容 3. 子どもの貧困とその連鎖
	15：20 ～ 16：20	【演習】 「総合演習」 認定NPO法人子どものみらい尼崎 理事長 濱田 格子氏	1. 子ども・子育て家庭の現状 2. 子ども・子育て家庭への支援と役割 3. 特別な支援を必要とする家庭 4. 子育て支援員に求められる資質 5. 今後の研修に向けて
	16：20	閉講	

ー子育て支援員コースー

1. 研 修 名	子育て支援員専門研修（地域保育コース）			
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県委託研修	・ 自主研修	3. 参 加 費	無料
4. 目 的	小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業等に従事するうえで必要な知識・技術等の修得を目的とする。			
5. 実 施 日	＜Aコース＞ 1日目：令和2年9月14日（月） 2日目：令和2年9月15日（火） ＜Bコース＞ 1日目：令和2年9月28日（月） 2日目：令和2年9月30日（水）		6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、次の①～⑦の業務に従事することを希望する方 ①小規模保育事業B型の保育従事者 ②小規模保育事業C型の家庭的保育補助者 ③家庭的保育事業の家庭的保育補助者 ④事業所内保育事業の保育士以外の保育従事者 ⑤企業主導型保育事業の保育士以外の保育従事者 ⑥地域保育コース修了者の配置が認められる事業の従事者 ⑦「保育所等における保育士配置特例」により、地域保育コース修了者として朝夕の時間帯、長時間開所に配置される従事者			
8. 受講人数	124名（A：70名、B：54名）			

●プログラム

日時		研修科目／講師名	研修内容
A 9 月 14 日 ・ B 9 月 28 日	9：50	開講／オリエンテーション	
	10：00 ～ 12：00	【講義】 「小児保健Ⅰ・Ⅱ」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教育研究補佐員 寺村 ゆかの氏	1. 乳幼児の健康観察のポイント 2. 発育と発達について 3. 衛生管理・消毒について 4. 薬の預かりについて 5. 子どもに多い症例とその対応 6. 子どもに多い病気（SIDS等含む）とその対応 7. 事故予防と対応
	13：00 ～ 14：30	【講義】 「乳幼児の発達と心理」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教育研究補佐員 寺村 ゆかの氏	1. 発達とは 2. 発達時期の区分と特徴 3. ことばとコミュニケーション 4. 自分と他者 5. 手のはたらきと探索 6. 移動する力 7. こころと行動の発達を支える保育者の役割

ー子育て支援員コースー

	14 : 40 ～ 15 : 40	Aコース 【講義】 「乳幼児の生活と遊び」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 子どもの発達と生活 2. 子どもの遊びと環境 3. 人との関係と保育のねらい・内容 4. 子どもの一日の生活の流れと役割
		Bコース 【講義】 「地域保育の環境整備」 甲南女子大学人間科学部 准教授 松井 愛奈氏	1. 保育環境を整える前に 2. 保育に必要な環境とは 3. 環境のチェックポイント
	15 : 40	1日目終了	

日時	研修科目／講師名	研修内容
A 9 月 15 日 ・ B 9 月 30 日	9 : 30 ～ 11 : 00	【講義】 「特別に配慮を要する子どもへの対応」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教育研究補佐員 寺村 ゆかの氏 1. 気になる行動 2. 気になる行動をする子どもの行動特徴 3. 気になる行動への対応の考え方 4. 気になる行動の原因とその対応 5. 保育者の役割 6. 遊びを通して、子どもの発達を促す方法
	11 : 10 ～ 12 : 10	【講義】 「安全の確保とリスクマネジメント」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教育研究補佐員 寺村 ゆかの氏 1. 子どもの事故 2. 子どもの事故の予防保育上の留意点 3. リスクマネジメントと賠償責任
	13 : 10 ～ 14 : 10	Aコース 【講義】 「地域保育の環境整備」 甲南女子大学人間科学部 准教授 松井 愛奈氏 1. 保育環境を整える前に 2. 保育に必要な環境とは 3. 環境のチェックポイント Bコース 【講義】 「乳幼児の生活と遊び」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏 1. 子どもの発達と生活 2. 子どもの遊びと環境 3. 人との関係と保育のねらい・内容 4. 子どもの一日の生活の流れと役割
	14 : 20 ～ 15 : 50	【講義・演習】 「保育者の職業倫理と配慮事項」 認定NPO法人子どものみらい尼崎 理事長 濱田 格子氏 1. 保育者の職業倫理 2. 保育者の自己管理 3. 地域等との関係 4. 保育所や様々な保育関係者との関係 5. 行政との関係 6. 地域型保育の保育者の役割
	16 : 05 ～ 17 : 35	【演習】 「グループ討議」 認定NPO法人子どものみらい尼崎 理事長 濱田 格子氏 1. 安全確保（事故予防） 2. 特別な配慮が必要な子どもへの対応 3. 保育者としての倫理や心がけ
	17 : 35	閉講

ー子育て支援員コースー

1. 研 修 名	子育て支援員専門研修（地域子育て支援コース〔利用者支援事業〕）		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県委託研修 ・ 自主研修	3. 参 加 費	無料
4. 目 的	利用者支援事業の専任職員として従事するうえで必要な専門的知識・原理・技術・倫理などの修得を目的とする。		
5. 実 施 日	＜基本型＞ 1 日目：令和 2 年 11 月 4 日（水） 2 日目：令和 2 年 11 月 6 日（金） ＜特定型＞ 1 日目：令和元年 11 月 4 日（水） 2 日目：令和元年 11 月 6 日（金）	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	地域において保育や子育て支援等の仕事に関心を持ち、利用者支援事業の専任職員の業務に従事することを希望する方、または現に従事している方		
8. 受講人数	55 名（基本型：43 名 特定型：12 名）		

●プログラム

＜基本型・特定型共通＞

日時	研修科目／講師名	研修内容
11 月 4 日	9：50 開講／オリエンテーション 10：00 ～ 11：00 【講義・演習】 「記録の取扱い」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教育研究補佐員 寺村 ゆかの氏 9：00 ～ 10：30 【講義・演習】 「利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 記録の目的 2. 記録の種類、項目、記述の方法 3. 記録の管理 1. 利用者支援専門員に求められる基本的姿勢と倫理

＜基本型＞

日時	研修科目／講師名	研修内容
11 月 4 日	11：10 ～ 12：10 【講義】 「地域資源の概要」 神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教育研究補佐員 寺村 ゆかの氏 13：10 ～ 14：10 【演習】 「利用者支援事業の概要」 兵庫県健康福祉部少子高齢局こども政策課 班長 沖本 明美氏 14：45 ～ 16：15 【演習】 「事例分析Ⅰ」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏 16：15 1 日目終了	1. 社会資源とは 2. 地域における社会資源の把握と連携 1. 事業目成立の背景と目的 2. 事業の内容 3. 兵庫県内における実施状況 1. 事例分析Ⅰ
11 月 6 日	10：40 ～ 12：10 【演習】 「事例分析Ⅱ」 神戸松蔭女子学院大学教育学部 教授 寺見 陽子氏 13：10 ～ 13：40 【講義】 「まとめ」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏 13：40 閉講	1. 事例分析Ⅱ 1. 利用者支援事業で求められる姿勢についての再確認

ー子育て支援員コースー

<特定型>

日時		研修科目／講師名	研修内容
11 月 4 日	11：10 ～ 12：10	【講義】 「利用者支援事業の概要」 兵庫県健康福祉部少子高齢局こども政策課 班長 沖本 明美氏	1. 事業目成立の背景と目的 2. 事業の内容 3. 兵庫県内における実施状況
	13：10 ～ 14：40	【講義】 「保育資源の概要」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 保育制度の概要 2. 保育資源の種類と内容 3. ニーズに応じた保育資源・サービスの提供方法
	14：40	1日目終了	
11 月 6 日	10：40 ～ 11：40	【講義】 「まとめ」 甲南女子大学人間科学部 教授 伊藤 篤氏	1. 振り返りとグループ討議
	11：40	閉講	

一介護支援専門員養成コース

1. 研 修 名	介護支援専門員実務研修		
2. 種 別	県知事指定研修	3. 参 加 費	第 22 回：受講料 42,000 円 資料代 1,500 円 第 23 回：受講料 52,000 円 資料代 3,000 円
4. 目 的	介護支援専門員に求められる価値（態度）、知識、技術を修得する。		
5. 実 施 日	第 22 回合格者対象 後期：令和 2 年 10 月 1 日（木） ～令和 2 年 12 月 7 日（月） 第 23 回合格者対象 前期：令和 3 年 1 月 7 日（木） ～3 月 10 日（水）	6. 場 所	第 22 回後期 県福祉人材研修センター 第 23 回前期 県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	介護支援専門員実務研修受講試験合格者		
8. 受講人数	725 名（第 22 回：後期 378 名、第 23 回：前期 347 名）		

●プログラム

（第 22 回後期）

〔後期 1 日目〕 ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）①基礎理解」

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）②看取り」

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）③認知症」

〔後期 2 日目〕

9:10	9:20	10:10	11:10	11:50	13:40	16:40	17:40
オリエンテーション	【講義】 「サービス担当者会議の意義及び進め方」	【ビデオ学習】 「サービス担当者会議の開き方、進め方」	【演習】 「模擬サービス担当者会議」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）①基礎理解」	実習オリエンテーション	事務連絡

【実習】

実習②「ケアマネジメントプロセスの見学実習」

※実習①「アセスメント及びケアプラン作成実習」については、新型コロナウイルスの影響により中止

〔後期 3 日目〕

9:10	9:15	12:25	13:15	16:25
オリエンテーション	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）②認知症」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）③看取り」	事務連絡

〔後期 4 日目〕 ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）④筋骨格系疾患」

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）⑤内臓の機能不全」

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）⑥脳血管疾患」

〔後期 5 日目〕

9:10	9:20	11:20	12:10	15:30	17:40
オリエンテーション	◆ビデオ講義 「ケアマネジメントの展開（講義編）⑤内臓の機能不全」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）⑤内臓の機能不全」	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）④筋骨格系疾患」	事務連絡

一介護支援専門員養成コース

[後期 6 日目]

9:10	9:15	10:15	11:50	12:40	14:15	17:25
オリエン テーショ ン	【演習】 「ケアマネジメン トの展開（演習編） ④筋骨格系疾患」	【演習】 「ケアマネジメン トの展開（演習編） ⑥脳血管疾患」	昼 休 憩	【演習】 「ケアマネジメン トの展開（演習編） ⑥脳血管疾患」	【講義・演習】 「アセスメント及び 居宅サービス計画 等作成の総合演習 1」	事 務 連 絡

[後期 7 日目]

9:10	9:25	12:35	13:25	15:35	17:35
オリエン テーショ ン	【講義・演習】 「アセスメント及び居 宅サービス計画等作 成の総合演習 2」	昼 休 憩	【講義・演習】 「模擬サービス担 当者会議」	【演習】 「研修全体を振り返 っての意見交換、講 評及びネットワーク 作り」	修 了 証 交 付

(第 23 回前期)

[1 日目]

9:10	9:25	12:40	13:30	17:50
オリエン テーショ ン	【講義】 「介護保険制度の理 念・現状及びケアマ ネジメント」	昼 休 憩	【講義】 「相談援助の専門職 としての基本姿勢及 び相談援助技術の基 礎」	事 務 連 絡

[2 日目]

9:10	9:15	12:30	13:20	16:35
オリエン テーショ ン	【講義】 「自立支援のための ケアマネジメントの 基本」	昼 休 憩	【講義】 「自立支援のための ケアマネジメントの 基本」	事 務 連 絡

[3 日目]

9:10	9:15	12:30	13:20	15:35	17:35
オリエン テーショ ン	【講義】 「ケアマネジメン トに必要な医療との 連携及び多職種協働 の意義」	昼 休 憩	【講義】 「ケアマネジメン トのプロセス」	【講義】 「人格の尊重及び権 利擁護並びに介護支 援専門員の倫理」	事 務 連 絡

[4 日目]

9:10	9:15	12:30	13:20	15:35	17:35
オリエン テーショ ン	【講義】 「地域包括ケアシス テム及び社会資源」	昼 休 憩	【講義】 「介護支援専門員に 求められるマネジメ ント（チームマネジ メント）」	【講義】 「ケアマネジメン トに係る法令等の理 解」	事 務 連 絡

[5 日目]

9:30	9:40	10:50	12:10	13:00	16:45
オリエン テーショ ン	【講義】 「ケアマネジメン トに必要な基礎知 識及び技術①受付 及び相談並びに契 約」	【講義】 「ケアマネジメン トに必要な基礎知 識及び技術②アセ スメント及びニーズ の把握の方法」	昼 休 憩	【演習】 「課題分析（アセ スメント・ニーズの 把握）の方法」（前 半）	事 務 連 絡

一介護支援専門員養成コース

[6 日目]

9:30	9:35	10:50	11:50	12:40	15:50
オリエン テーショ ン	【演習】 「課題分析（アセ スメント・ニーズ の把握）の方法」 （後半）」	【講義】 「ケアマネジメントに 必要な基礎知識及び 技術③居宅サービス 計画等の作成」	昼 休 憩	【演習】 「居宅サービス計画等の作成」 2 日間のまとめ・講評	事 務 連 絡

[7 日目]

9:30	9:40	11:50	12:40	13:30	14:30	17:00
オリエン テーショ ン	【講義・演習】 「利用者、多くの種類の 専門職等への説明及び 合意」	昼 休 憩	【講義】 「ケアマネジメントに必 要な基礎知識及び技術 ④サービス担当者会議 の意義及び進め方」	【ビデオ学習】 「サービス担当者 会議の開き方、 進め方」	【演習】 「模擬サービス 担当者議」	事 務 連 絡

[8 日目]

9:30	9:35	10:55	12:10	13:00	14:45	15:45
オリエン テーショ ン	【講義】 「ケアマネジメントに 必要な基礎知識及び 技術⑤モニタリング 及び評価 1（モニタ リングの視点）」	【演習】 「モニタリングの 視点抽出」	昼 休 憩	【講義・演習】 「ケアマネジメントに必要な基 礎知識及び技術⑤モニタリン グ及び評価 2（ケアプランを見 直そう！～ケアマネジメント プロセスを振り返って～）」	実習オリ エンテー ション	事 務 連 絡

【実習】

実習②「ケアマネジメントプロセスの見学実習」

※実習①「アセスメント及びケアプラン作成実習」については、新型コロナウイルスの影響により中止

－介護支援専門員養成コース－

1. 研 修 名	介護支援専門員更新研修B・再研修		
2. 種 別	県知事指定研修	3. 参 加 費	受講料 28,000 円 資料代 2,000 円
4. 目 的	介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が、実務に就く際に、介護支援専門員として必要な価値（態度）、知識、技術を再修得することを目的とする。		
5. 実 施 日	(1～4 日目・7 日目)レポート形式 (5～6 日目) 令和 2 年 8 月 22 日（土）～23 日（日） 令和 2 年 10 月 19 日（月） ～11 月 29 日（日） (8～9 日目) 令和 2 年 8 月 29 日（土）～30 日（日） 令和 2 年 12 月 9 日（水） ～令和 3 年 2 月 13 日（土） (10 日目) 令和 2 年 8 月 31 日（月） 令和 3 年 2 月 22 日（月）～3 月 22 日（月）	6. 場 所	(5～10 日目) 県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	(更新研修B― 実務未経験者) 現在の介護支援専門員証の有効期間が概ね 2 年以内に満了する方で、介護支援専門員としての実務経験がない方 (再研修― 介護支援専門員証の有効期間満了者) 介護支援専門員証の有効期間が満了し、一旦失効した方		
8. 受講人数	764 名		

●プログラム

[1 日目] ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント」

【講義】「ケアマネジメントに係る法令等の理解」

【講義】「介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）」

[2 日目] ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「自立支援のためのケアマネジメントの基本」

【講義】「人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理」

[3 日目] ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義」

【講義】「地域包括ケアシステム及び社会資源」

[4 日目] ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）①基礎理解」

[5 日目]

9:15	9:25	11:25	12:15	14:35	17:45
オリエンテーション	【講義】 「ケアマネジメントの展開（講義編）③認知症」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）①基礎理解」	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）③認知症」	事務連絡

[6 日目]

9:15	9:20	11:20	12:10	15:30
オリエンテーション	【講義】 「ケアマネジメントの展開（講義編）②看取り」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）②看取り」	事務連絡

一介護支援専門員養成コース

[7日目] ※以下の科目について、新型コロナウイルスの影響により、レポート課題対応

【講義】「ケアマネジメントの展開（講義編）⑥脳血管疾患」

[8日目]

9:15	9:25	11:25	12:15	15:35	17:35
オリエンテーション	【講義】 「ケアマネジメントの展開（講義編）⑤内臓の機能不全」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）⑤内臓の機能不全」	【講義】 「ケアマネジメントの展開（講義編）④筋骨格系疾患」	事務連絡

[9日目]

9:15	9:20	12:30	13:20	16:30
オリエンテーション	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）④筋骨格系疾患」	昼休憩	【演習】 「ケアマネジメントの展開（演習編）⑥脳血管疾患」	事務連絡

[10日目]

9:15	9:25	12:35	13:25	15:45
オリエンテーション	【講義・演習】 「アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習」	昼休憩	【講義・演習】 「アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習」	修了証交付

－介護支援専門員養成コース－

1. 研 修 名	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修A（前期）		
2. 種 別	県知事指定研修	3. 参 加 費	受講料 35,000 円 資料代 2,000 円
4. 目 的	介護支援専門員が、一定の実務経験をもとに、価値（態度）、専門知識、技術の修得を図り、その専門性を高め資質の向上を図る。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止（令和3年度に延期）	6. 場 所	—
7. 対 象 者	（専門研修課程Ⅰ— 実務従事者） 申し込み時点で実務に就いており、かつ現在の介護支援専門員証を交付されてから実務経験が6か月以上ある方 （更新研修A（前期）— 実務経験者） 現在の介護支援専門員証の有効期間が概ね2年以内に満了する方で、以下（1）（2）のいずれかに該当する方 （1）申し込み時点で実務についているが、現在の証の有効期間内の実務経験が6か月未満の方 （2）現在の証の有効期間内の実務経験があるが、申し込み時点で実務に就いていない方		
8. 受講人数	—		

●プログラム（10日間、研修時間57.5時間）

[1日目]

9:10	9:25	11:30	12:20	17:00
オリエンテーション	【講義・演習】 「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」（前半）	昼休憩	【講義・演習】 「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」（前半）	

[2日目]

9:10	9:20	12:10	13:00	16:50
オリエンテーション	【講義・演習】 「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」（後半）	昼休憩	【講義・演習】 「ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定」（後半）	事務連絡

[3日目]

9:30	9:40	12:55	13:45	17:00
オリエンテーション	【講義】 「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状」	昼休憩	【講義】 「対人個別援助技術及び地域援助技術」	

[4日目]

9:30	9:40	11:55	12:45	17:15
オリエンテーション	【講義】 「ケアマネジメントの実践における倫理」	昼休憩	【講義】 「ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践」	

一介護支援専門員養成コース

[5 日目]

9:30	9:40	10:55	11:55	12:45	14:00	15:15	16:45
オリエンテーション	【講義】 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」	【講義】 「認知症に関する事例」	昼休憩	【講義】 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」	【講義】 「入退院時における医療との連携に関する事例」	【講義】 「事例検討のすすめ方」	事務連絡

[6 日目]

9:10	9:20	11:50	12:40	13:35	16:55
オリエンテーション	【演習】 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」	昼休憩	【演習】 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」	【演習】 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」	

[7 日目]

9:10	9:20	11:50	12:40	13:35	16:55
オリエンテーション	【演習】 「認知症に関する事例」	昼休憩	【演習】 「認知症に関する事例」	【演習】 「入退院時における医療との連携に関する事例」	

[8 日目]

9:10	9:20	11:45	12:35	14:45	17:00
オリエンテーション	【講義・演習】 「家族支援の視点が必要な事例」	昼休憩	【講義・演習】 「家族支援の視点が必要な事例」	【講義・演習】 「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」(前半)	

[9 日目]

9:10	9:20	11:25	12:35	13:25	16:35
オリエンテーション	【講義・演習】 「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」(後半)	【講義・演習】 「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例」	昼休憩	【講義・演習】 「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例」	事務連絡

[10 日目]

10:30	10:45	12:00	12:50	15:10	15:55
オリエンテーション	【講義・演習】 「研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り」	昼休憩	【講義・演習】 「個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習」	【講義・演習】 「研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り」	修了証交付

－介護支援専門員養成コース－

1. 研 修 名	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修A（後期）		
2. 種 別	県知事指定研修	3. 参 加 費	受講料 18,000 円 資料代 1,200 円
4. 目 的	実務経験を有する介護支援専門員に対し、事例検討や演習を通じ、価値(態度)、専門知識、技術の向上を図り、支援困難事例等への対応のスキルを高めることにより、課題解決能力の向上を図る。		
5. 実 施 日	新型コロナウイルスの影響により中止	6. 場 所	—
7. 対 象 者	(専門研修課程Ⅱ— 実務従事者) 申し込み時点で実務に就いており、かつ現在の介護支援専門員証を交付されてから実務経験が3年以上ある方 (更新研修A（後期）— 実務経験者) 現在の介護支援専門員証の有効期間が概ね2年以内に満了する方で、以下(1)(2)のいずれかに該当する方 (1) 申し込み時点で実務についているが、現在の証の有効期間内の実務経験が3年未満の方 (2) 現在の証の有効期間内の実務経験があるが、申し込み時点で実務に就いていない方		
8. 受講人数	—		

●プログラム（6日間、研修時間 33.5 時間）

[1 日目]

9:30	9:40	11:55	12:45	15:15	16:45
オリエンテーション	【講義】 「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開」	昼休憩	【講義】 「介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開」	【講義】 「事例研究のすすめ方」	事務連絡

[2 日目]

9:25	9:35	12:30	13:30	14:45
オリエンテーション	【講義・演習】 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」	昼休憩	【講義・演習】 「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」	事務連絡

[3 日目]

9:25	9:35	10:20	13:00	13:50	15:15	16:30
オリエンテーション	事例選定3科目分	【講義・演習】 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」	昼休憩	【講義・演習】 「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」	【講義・演習】 「認知症に関する事例（前半）」	

[4 日目]

9:10	9:15	11:55	12:45	16:50
オリエンテーション	【講義・演習】 「認知症に関する事例（後半）」	昼休憩	【講義・演習】 「入退院時等における医療との連携に関する事例」	事務連絡

[5 日目]

9:25	9:35	10:20	13:00	13:50	15:15	16:30
オリエンテーション	事例選定3科目分	【講義・演習】 「家族への支援の視点が必要な事例」	昼休憩	【講義・演習】 「家族への支援の視点が必要な事例」	【講義・演習】 「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」（前半）	

一介護支援専門員養成コースー

[6 日目]

9:10	9:15	11:55	12:45	16:50
オリエン テーショ ン	【講義・演習】 「社会資源の活用に向けた関係 機関との連携に関する事例」 (後半)	昼休 憩	【講義・演習】 「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービ ス、施設サービス等)の活用に関する事例」	修了証 交付

ー介護支援専門員養成コースー

1. 研 修 名	介護支援専門員施設ケアマネジメント研修		
2. 種 別	県指定管理研修 ・ 県補助研修 ・ <u>自主研修</u>	3. 参 加 費	受講料 8,500 円
4. 目 的	施設におけるケアマネジャーの役割と可能性、現場で役立つアセスメント、モニタリングの視点について学ぶ。		
5. 実 施 日	令和3年2月9日(火)、10日(水)	6. 場 所	県福祉人材研修センター
7. 対 象 者	介護保険施設等で実務に従事する介護支援専門員		
8. 受講人数	92 名		

●プログラム

[1 日目]

9:30	9:50	11:10	12:20	13:10	16:40
オリエンテーション	【講義】 「利用者支援の基本的考え方、施設ケアマネジャーと自立支援」	【講義】 「アセスメントの基本的考え方」	昼休憩	【演習】 「アセスメント演習」	

[2 日目]

9:00	9:05	10:30	11:40	12:30	14:20	16:20	16:45
オリエンテーション	【講義】 「施設ケアプラン立案の実際」	【演習】 「施設ケアプランの作成」	昼休憩	【演習】 「施設ケアプランの作成」	【講義・演習】 「モニタリングの実際」	まとめ 講評	

－介護支援専門員養成コース－

1. 研 修 名	第 23 回介護支援専門員実務研修受講試験		
2. 種 別	県知事指定試験	3. 受験手数料	9,800 円
4. 目 的	介護支援専門員の業務に従事することを希望する者が、介護支援専門員実務研修を受けるにあたって、事前に、介護保険制度や保健医療福祉サービスに関する基礎的知識を有していることを確認するため、兵庫県知事の指定を受け実施する。		
5. 実 施 日	令和 2 年 10 月 11 日（日）	6. 場 所	神戸大学
7. 対 象 者	「介護支援専門員実務研修受講試験の実施について」の一部改正について（平成 30 年 5 月 28 日付 老発 0528 第 2 号厚生労働省老健局長通知）に定める対象者		
8. 受験者数	受験申込受付数 2,516 名 実受験者数 2,122 名（受験無効者含む） うち合格者数 352 名（合格率 16.6%）		

●受験内容（試験科目・時間）

出題範囲	問題数	試験時間
介護支援分野	25 問	120 分（10:00～12:00）
保健医療福祉サービス分野		※点字受験など配慮が必要な受験生（受験の特例の措置の取り扱いの決定を受けた方）は、終了時刻が異なる。
・保健医療サービスの知識等	20 問	
・福祉サービスの知識等	15 問	
合 計 （解答数）	60 問	

5 福祉人材研修センターに関する資料

(1) 兵庫県福祉人材研修センターの概要

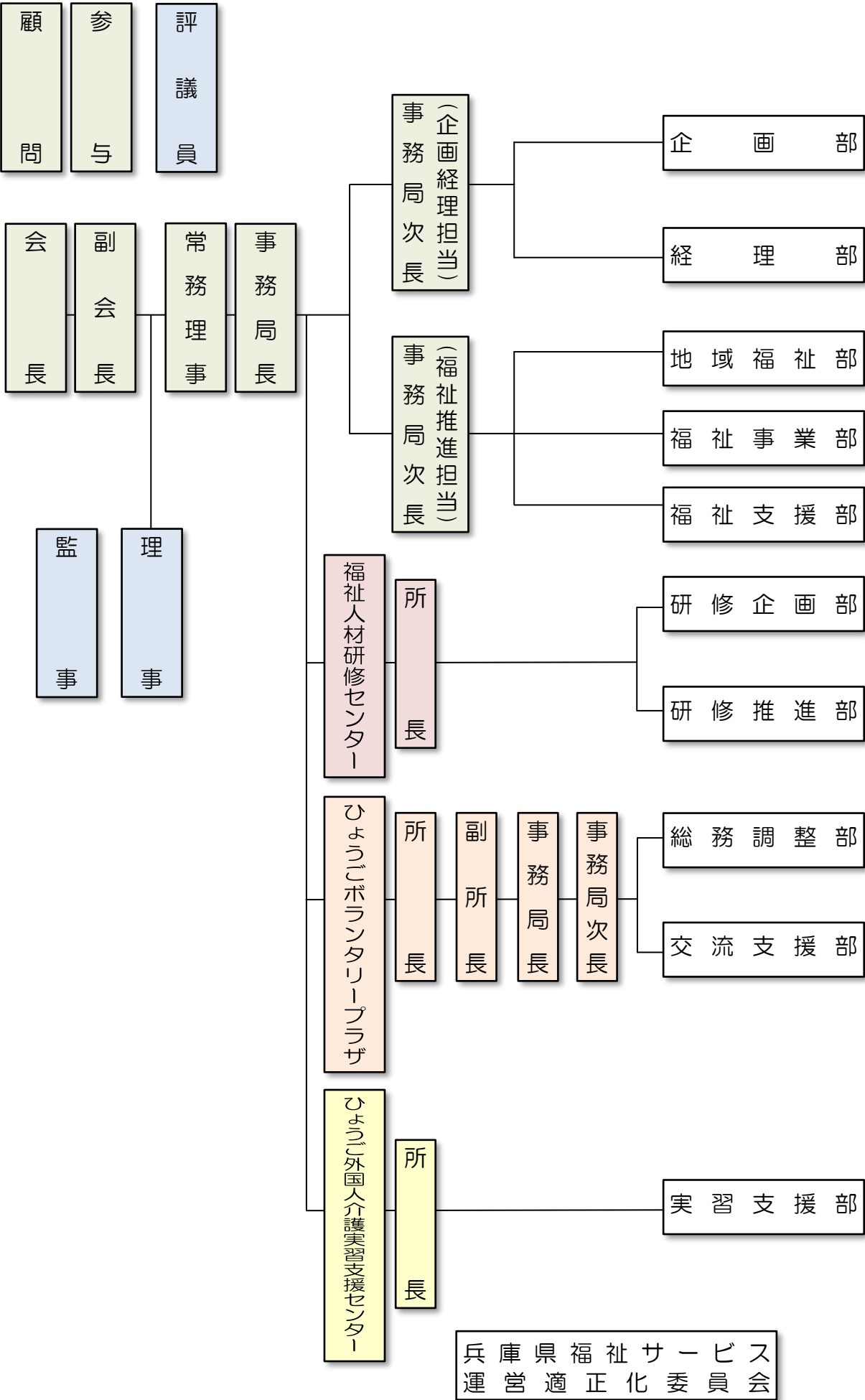
- ◆名 称 兵庫県福祉人材研修センター
- ◆所 在 地 〒650-0004 神戸市中央区中山手通7丁目28番33号
(TEL) 078-367-3001 (FAX) 078-367-4522
- ◆ホームページ <https://hfkensyu.com/>



- ◆事業
 - ア 社会福祉従事者に対する研修
 - ① 新任研修（新任職員に向けた職務の遂行に必要な基礎的知識及び技術の修得）
 - ② 専門研修（職務の遂行に必要な専門的知識及び技術の修得）
 - イ その他社会福祉に関する研修
 - ウ 上記ア、イについての調査研究
- ◆沿革
 - 昭和45年3月 兵庫県社会福祉研修所設置条例制定
(昭和45年3月31日兵庫県条例第17号)
 - 昭和45年3月 兵庫県社会福祉研修所規則制定
(昭和45年3月31日兵庫県規則第16号)
 - 昭和45年4月 兵庫県行政組織規則一部改正
(昭和45年4月1日兵庫県規則第21号)
 - 昭和46年3月 兵庫県社会福祉研修所の設置及び管理に関する条例一部改正
(昭和46年3月25日兵庫県条例第17号)
 - 昭和46年3月 兵庫県行政組織規則一部改正

	(昭和 46 年 3 月 31 日兵庫県規則第 23 号)
昭和 48 年 4 月	兵庫県社会福祉研修所の設置及び管理に関する条例一部改正
	(昭和 48 年 3 月 31 日兵庫県条例第 20 号)
昭和 50 年 5 月	神戸市葺合区坂口通 2 丁目 1 番 18 号 (兵庫県福祉センター 3 階) へ庁舎移転
昭和 55 年 11 月	兵庫県社会福祉研修所の設置及び管理に関する条例の一部改正 (昭和 55 年 11 月 21 日兵庫県条例第 43 号) により葺合区を中央区に名称変更
昭和 59 年 4 月	兵庫県社会福祉研修所の設置及び管理に関する条例の一部改正 (昭和 59 年 3 月 28 日兵庫県条例第 10 号) により研修所の管理を社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会に委託
昭和 59 年 4 月	社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会において、定款及び事務局等組織規程を改正し、研修所の管理を受託
平成 11 年 4 月	神戸市中央区坂口通 2 丁目 1 番 23 号へ庁舎移転
平成 18 年 4 月	神戸市中央区中山手通 6 丁目 1 番 30 号へ暫定移転
平成 31 年 3 月	兵庫県社会福祉研修所の設置及び管理に関する条例の一部改正 (平成 30 年 3 月 22 日兵庫県条例第 21 号) により兵庫県福祉人材研修センターの設置及び管理に関する条例に題名改正
平成 31 年 3 月	神戸市中央区中山手通 7 丁目 28 番 33 号へ庁舎移転、現在に至る

事務局組織図（令和3年4月現在）



令和 3 年度 兵庫県社会福祉協議会 社会福祉研修概要

発 行：令和 3 年 6 月

社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会

福祉人材研修センター

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 7-28-33

TEL:078-367-3001 FAX:078-367-4522

URL:<https://hfkensyu.com/>